

# 2020年度第4四半期決算説明会 Appendix

2021年2月12日  
楽天株式会社



# 連結業績

# FY2020 売上収益と営業利益\*1

(単位：十億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比
<b>コア事業</b> *2			
売上収益	1,010.8	1,131.7	+12.0%
営業利益	134.2	156.5	+16.6%
<b>市場変動型等／投資事業</b> *3			
売上収益	122.6	129.7	+5.9%
営業利益	93.4	23.2	-75.1%
<b>将来の成長に向けた先行投資型事業</b> *4			
売上収益	265.3	362.0	+36.4%
営業利益	-127.7	-285.3	-1,576億円
<b>調整額</b>			
売上収益	-134.8	-167.9	-332億円
営業利益	-4.9	2.9	+78億円
<b>連結</b>			
売上収益	1,263.9	1,455.5	+15.2%
Non-GAAP 営業利益	95.1	-102.7	-1,978億円
IFRS 営業利益	72.7	-93.8	-1,666億円

\*1 Q1/20より、楽天損保の売上収益計上方法変更等に伴い、一部数値を遡及修正

\*2 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

\*3 楽天証券、楽天損保、投資事業を含む

\*4 物流関連投資、楽天モバイル、ペイメント事業、NBA放映権、Rakuten Rewards (Ebates) リブランディング費用等を含む

# Q4/20 売上収益と営業利益\*1

(単位：十億円)

	Q4/19	Q4/20	前年同期比
<b>コア事業</b> *2			
売上収益	291.4	331.6	+13.8%
営業利益	33.6	48.2	+43.4%
<b>市場変動型等／投資事業</b> *3			
売上収益	33.3	31.8	-4.4%
営業利益	-20.2	19.6	+399億円
<b>将来の成長に向けた先行投資型事業</b> *4			
売上収益	75.6	98.6	+30.5%
営業利益	-44.9	-92.6	-477億円
<b>調整額</b>			
売上収益	-42.1	-46.7	-46億円
営業利益	-0.7	1.4	+21億円
<b>連結</b>			
売上収益	358.2	415.3	+16.0%
Non-GAAP 営業利益	-32.2	-23.3	+89億円
IFRS 営業利益	-40.2	-33.3	+69億円

\*1 Q1/20より、楽天損保の売上収益計上方法変更等に伴い、一部数値を遡及修正

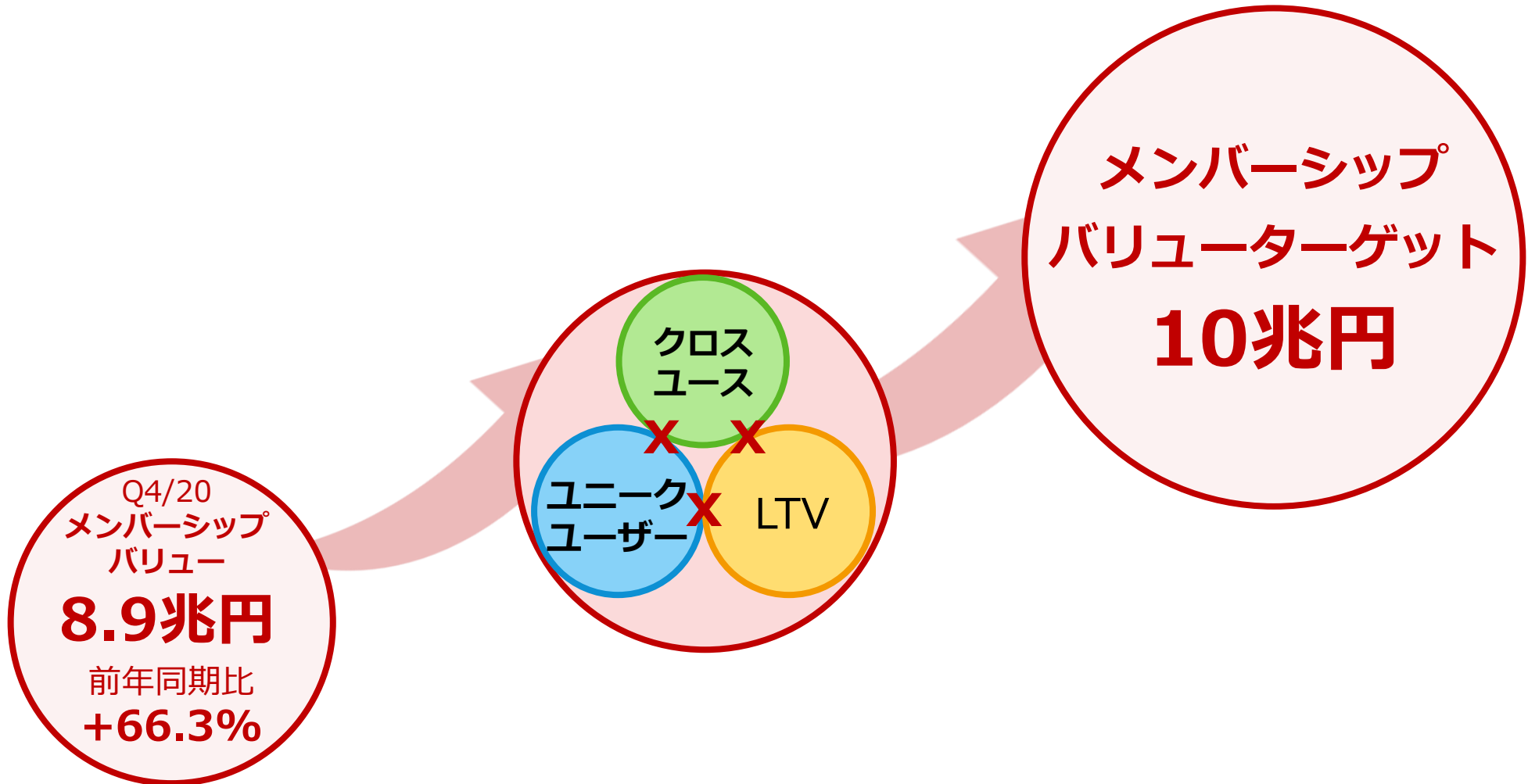
\*2 楽天市場、楽天トラベル、Rakuten Rewards (Ebates)、楽天カード、楽天銀行、楽天生保等を含む

\*3 楽天証券、楽天損保、投資事業を含む

\*4 物流関連投資、楽天モバイル、ペイメント事業、NBA放映権、Rakuten Rewards (Ebates) リブランディング費用等を含む

# 楽天エコシステムの超拡大

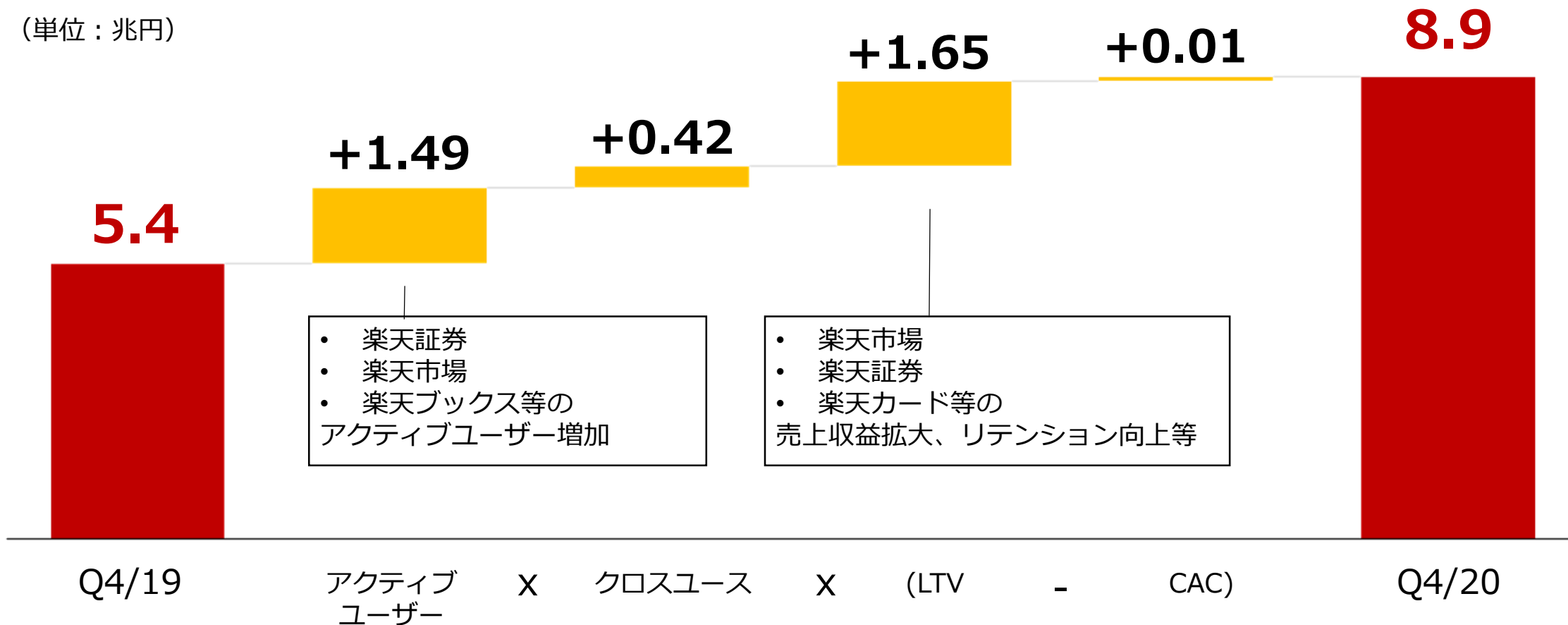
- メンバーシップバリューは目標の10兆円に向け順調に拡大



# 楽天エコシステムのメンバーシップバリュー

- メンバーシップバリューは新型コロナウイルスの影響等による楽天市場、楽天証券、楽天カードのユーザー拡大と粗利向上により、前年同期比+66.3%と大幅に拡大

(単位：兆円)

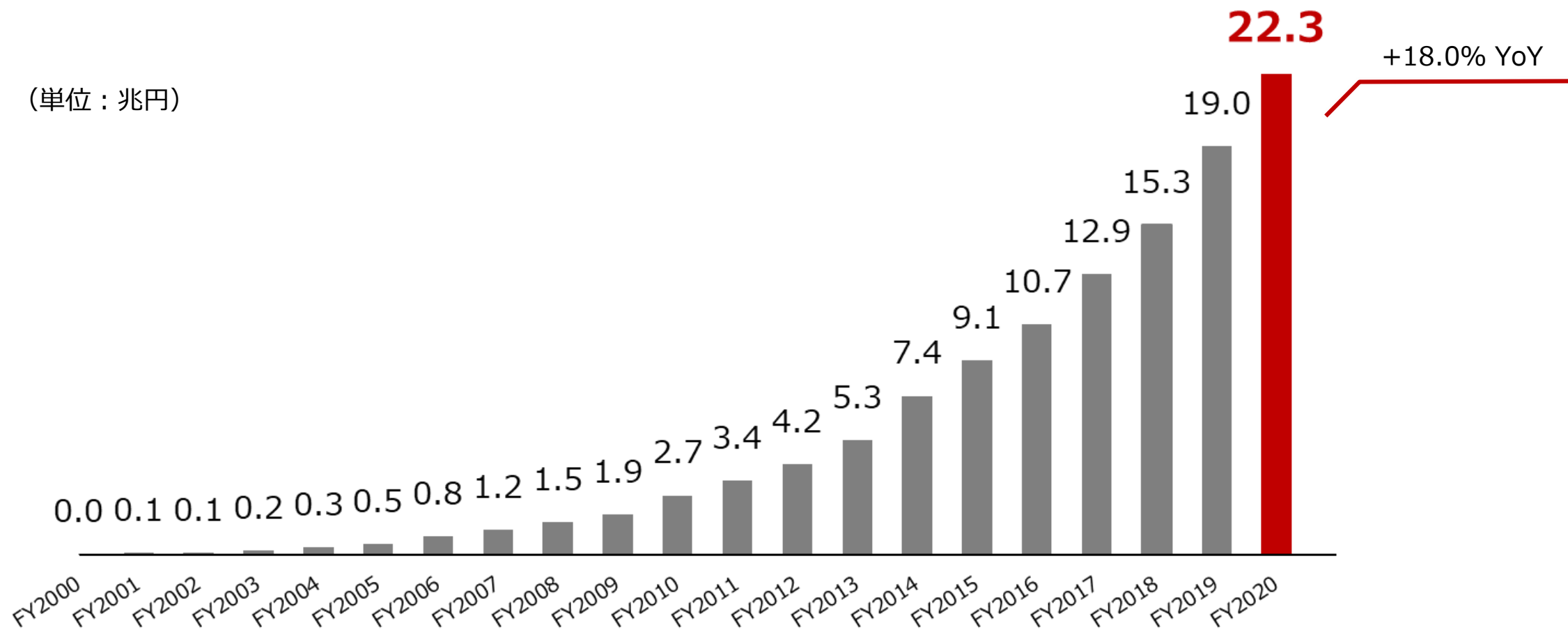


\* MVNO事業の新規受付終了に伴い、一部メンバーシップバリューを除外

\* ドイツのマーケットプレイスビジネスのクローズに伴い、一部メンバーシップバリューを除外

# グローバル流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

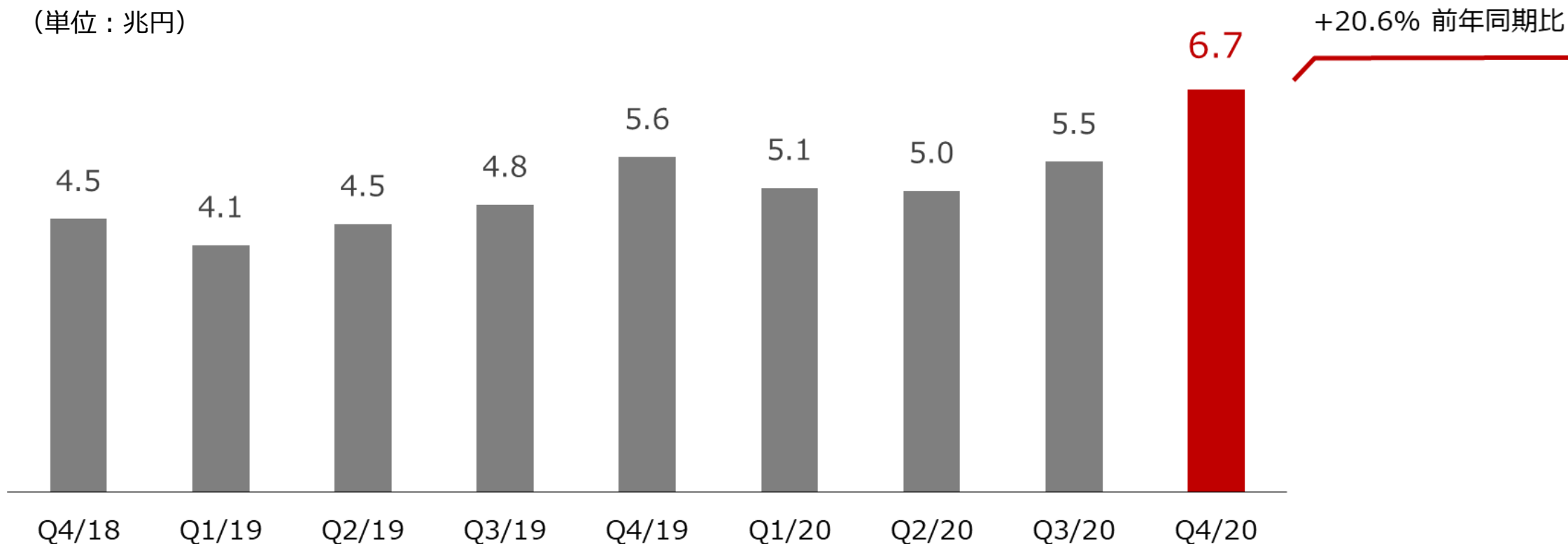


\*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + 楽天Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + Rakuten Advertising (Rakuten Marketing) 取扱高

\*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む

# グローバル流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

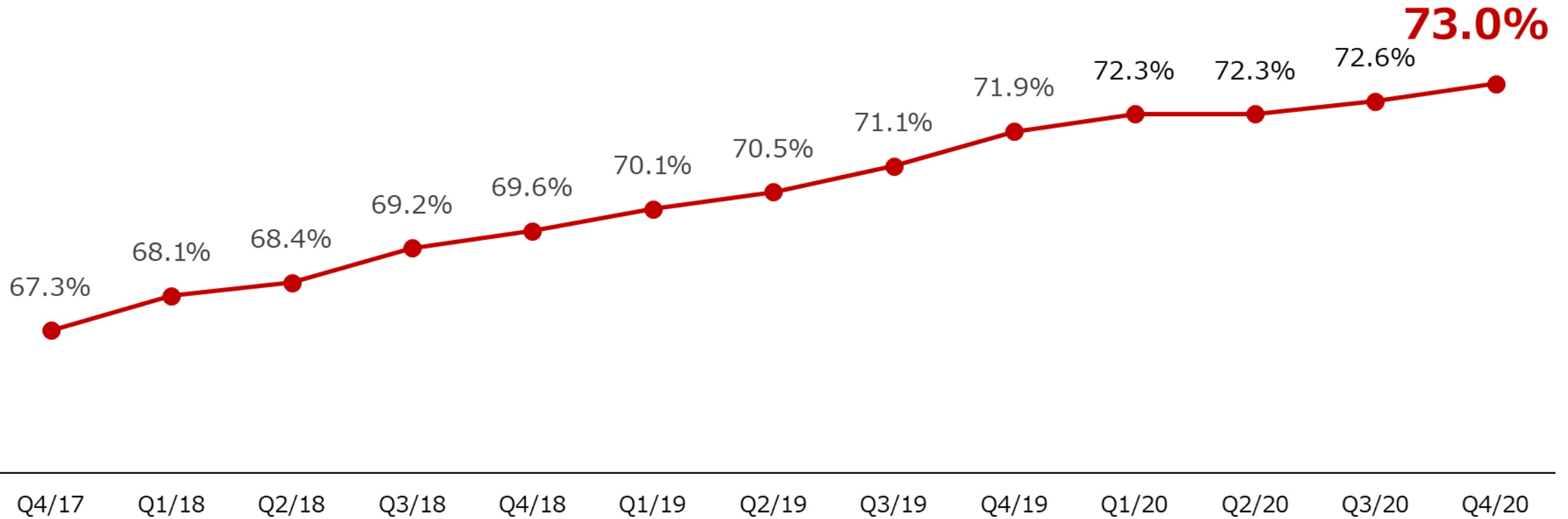


\*1 グローバル流通総額 = 国内EC流通総額 + クレジットカードショッピング取扱高 + 楽天Edy決済取扱高 + 楽天ペイ決済取扱高 + 楽天ポイントカード取扱高 + 海外EC流通総額 + Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額 + デジタルコンテンツ取扱高 + Rakuten Advertising (Rakuten Marketing) 取扱高

\*2 決済・アフィリエイトサービスには、楽天グループ内取引を含む



# クロスユース率\*の拡大



\* 過去12か月間における2サービス以上利用者数／過去12か月間における全サービス利用者数 (2020年12月末時点)  
(楽天ポイントが獲得可能なサービスの利用に限る)

# FY2020 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比
売上収益	1,263.9	1,455.5	+15.2%
Non-GAAP 営業利益	95.1	-102.7	-1,978億円
Non-GAAP 営業利益 (モバイル、物流、投資事業の損益除く)	108.1	148.9	+37.6%
IFRS 営業利益	72.7	-93.8	-1,666億円

# Q4/20 連結業績サマリー

(単位：十億円)

	Q4/19	Q4/20	前年同期比
売上収益	358.2	415.3	+16.0%
Non-GAAP 営業利益	-32.2	-23.3	+89億円
Non-GAAP 営業利益 (モバイル、物流、投資事業の損益除く)	27.6	44.3	+60.7%
IFRS 営業利益	-40.2	-33.3	+69億円

# FY2020 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

		FY2019	FY2020	前年同期比
国内EC	売上収益	482.2	584.1	+21.1%
	営業利益	51.5	58.2	+13.0%
その他*1	売上収益	261.1	236.0	-9.6%
	営業利益	55.7	-18.1	-738億円
インターネットサービスセグメント*2				
	売上収益	743.3	820.1	+10.3%
	営業利益	107.2	40.1	-62.6%
フィンテックセグメント				
	売上収益	486.4	576.2	+18.5%
	営業利益	69.3	81.3	+17.3%
モバイルセグメント*2				
	売上収益	169.1	227.1	+34.4%
	営業利益	-76.5	-227.0	-1,505億円
調整額				
	売上収益	-134.8	-167.9	-332億円
	営業利益	-4.9	2.9	+78億円
連結				
	売上収益	1,263.9	1,455.5	+15.2%
	Non-GAAP 営業利益	95.1	-102.7	-1,978億円
	IFRS 営業利益	72.7	-93.8	-1,666億円

\*1 Q2/20に、OverDrive Holdings, Inc.の全株式を譲渡したことに伴い、Q3/20より同社の損益を除外

\*2 Q4/20に、コンテンツ関連事業をインターネットサービスセグメントからモバイルセグメントに移管

# Q4/20 売上収益と営業利益

(単位：十億円)

		Q4/19	Q4/20	前年同期比
国内EC	売上収益	132.2	178.5	+35.1%
	営業利益	12.3	21.0	+70.3%
その他*1	売上収益	83.7	72.3	-13.6%
	営業利益	-30.6	11.8	+424億円
インターネットサービスセグメント*2				
	売上収益	215.9	250.9	+16.2%
	営業利益	-18.3	32.8	+511億円
フィンテックセグメント				
	売上収益	132.4	150.5	+13.7%
	営業利益	18.4	17.9	-2.6%
モバイルセグメント*2				
	売上収益	52.0	60.7	+16.8%
	営業利益	-31.6	-75.4	-438億円
調整額				
	売上収益	-42.1	-46.7	-46億円
	営業利益	-0.7	1.4	+21億円
連結				
	売上収益	358.2	415.3	+16.0%
	Non-GAAP 営業利益	-32.2	-23.3	+89億円
	IFRS 営業利益	-40.2	-33.3	+69億円

\*1 Q2/20に、OverDrive Holdings, Inc.の全株式を譲渡したことに伴い、Q3/20より同社の損益を除外

\*2 Q4/20に、コンテンツ関連事業をインターネットサービスセグメントからモバイルセグメントに移管

# FY2020 Non-GAAP営業利益調整額

(単位：十億円)

	FY2019	FY2020	前年同期比
Non-GAAP営業利益	95.1	-102.7	-1,978億円
無形資産償却費 (PPA)	-8.8	-9.5	-7億円
株式報酬費用	-10.1	-10.6	-5億円
非経常的な項目	-3.5	28.9	+324億円
IFRS営業利益	72.7	-93.8	-1,666億円

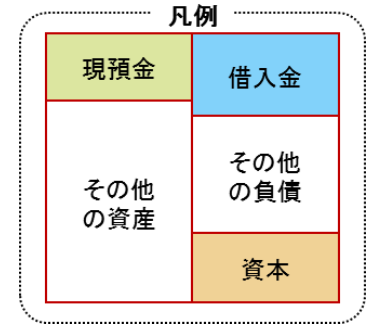
# Q4/20 Non-GAAP営業利益調整額

(単位：十億円)

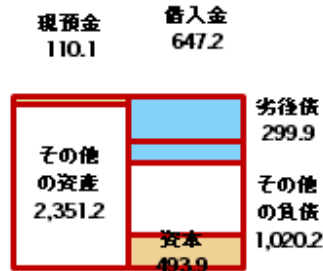
	Q4/19	Q4/20	前年同期比
Non-GAAP営業利益	-32.2	-23.3	+89億円
無形資産償却費 (PPA)	-1.9	-1.6	+3億円
株式報酬費用	-2.6	-2.6	+0億円
非経常的な項目	-3.5	-5.9	-24億円
IFRS営業利益	-40.2	-33.3	+69億円

# 楽天・フィンテック各社のバランスシート概要 (2020年12月末) \*子会社は内部取引を含む

(単位：十億円)



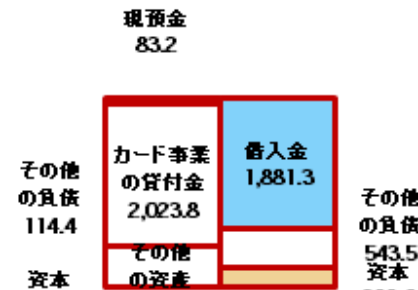
楽天 (連結)  
総資産 12,524.4



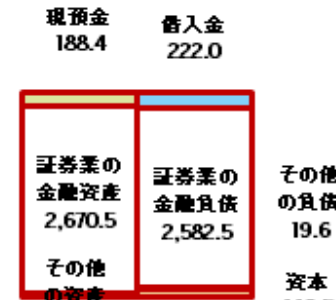
楽天  
総資産 2,461.3



楽天銀行  
総資産 5,745.8



楽天カード  
総資産 2,713.3



楽天証券  
総資産 2,934.7



楽天生命  
総資産 78.4



楽天損保  
総資産 441.4

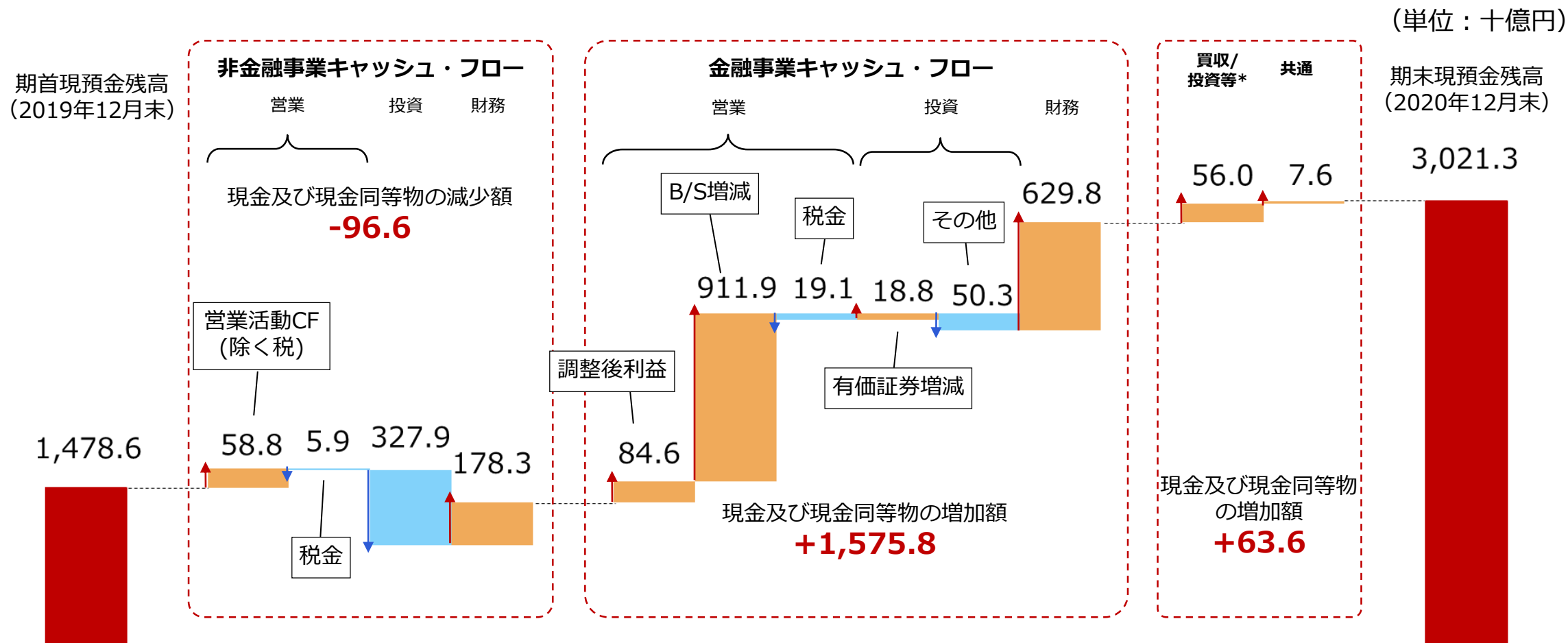
\* 楽天、楽天銀行、楽天カード、楽天証券、楽天生命、楽天損保はIFRSに準拠した単独決算の数値

\* 借入金 = 社債 + CP + 借入金

\* 子会社は内部取引を含む



# キャッシュ・フローの状況 (2020年1月 - 12月)

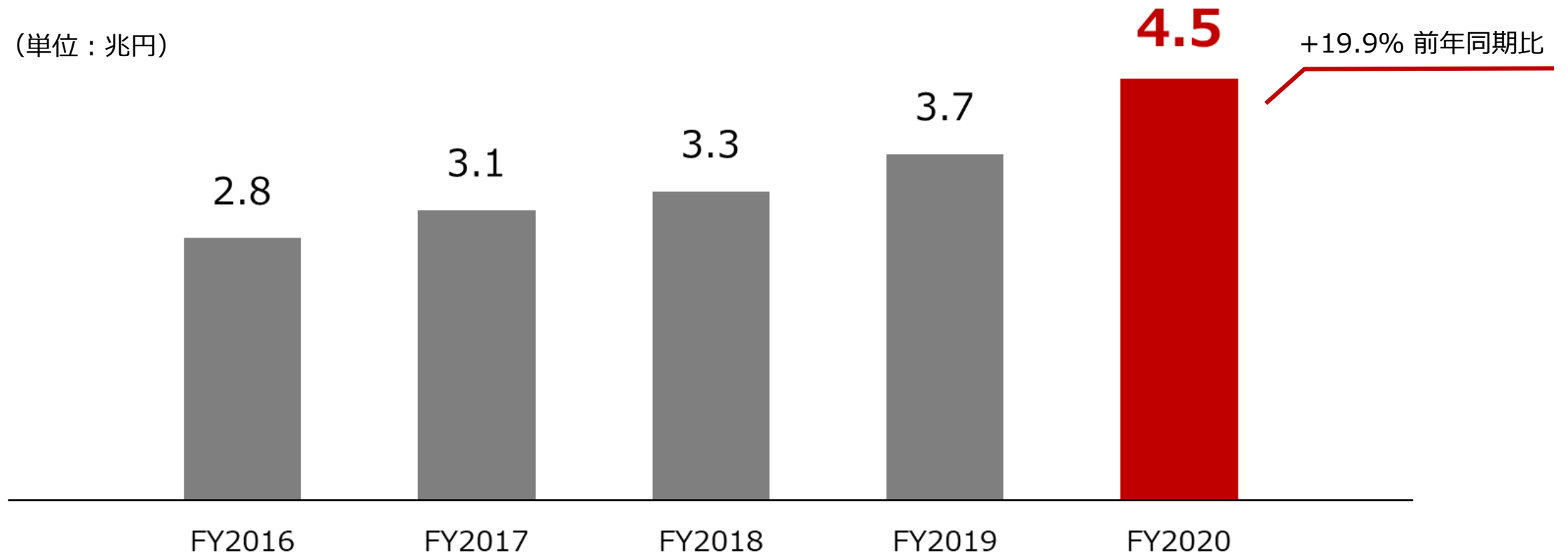


\* 買収/投資等には、「子会社の取得による収入、支出」の他、非金融における「拘束性預金の戻入による収入、支出」、「有価証券の取得による支出」及び「有価証券の売却及び償還による収入」が含まれます

# インターネットサービスセグメント

# 国内EC 流通総額\*1\*2

(単位：兆円)

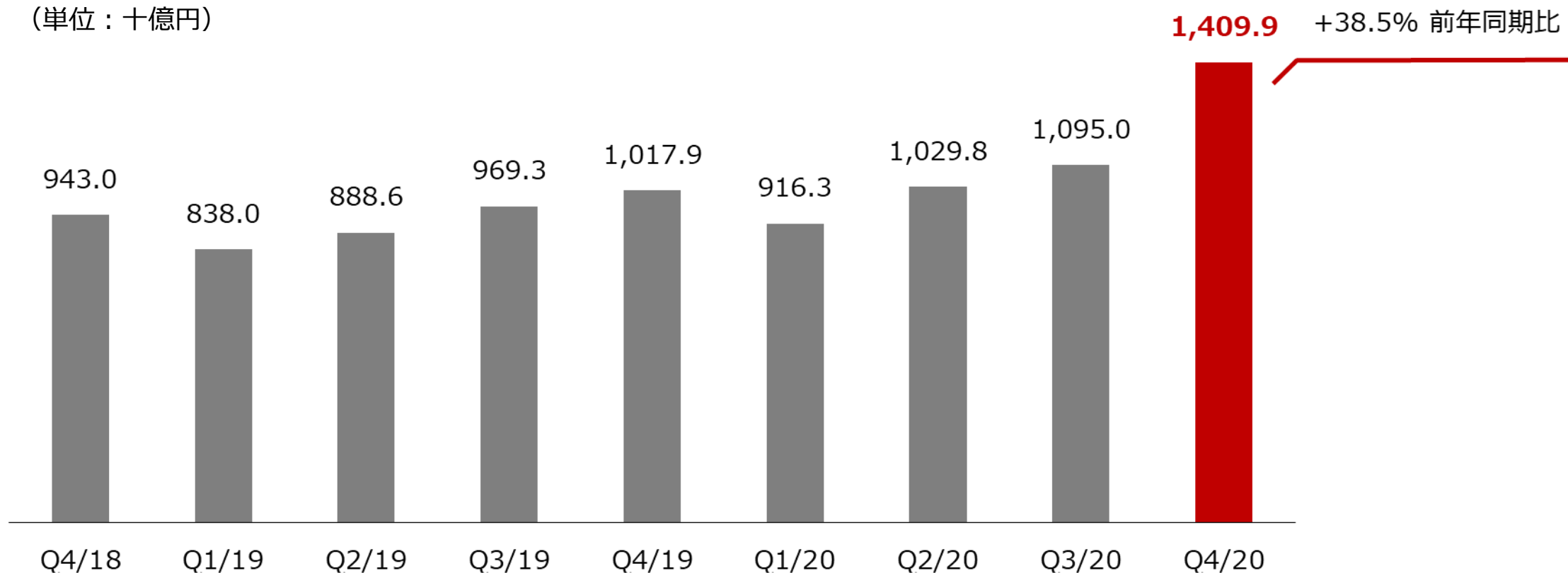


\*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24（ダイレクト）、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー等の流通額の合計

\*2 内部取引消去に加え、チケット事業をモバイルセグメントへ移管したため、2018年度より数値を遡及修正

# 国内EC 流通総額\*1\*2

(単位：十億円)



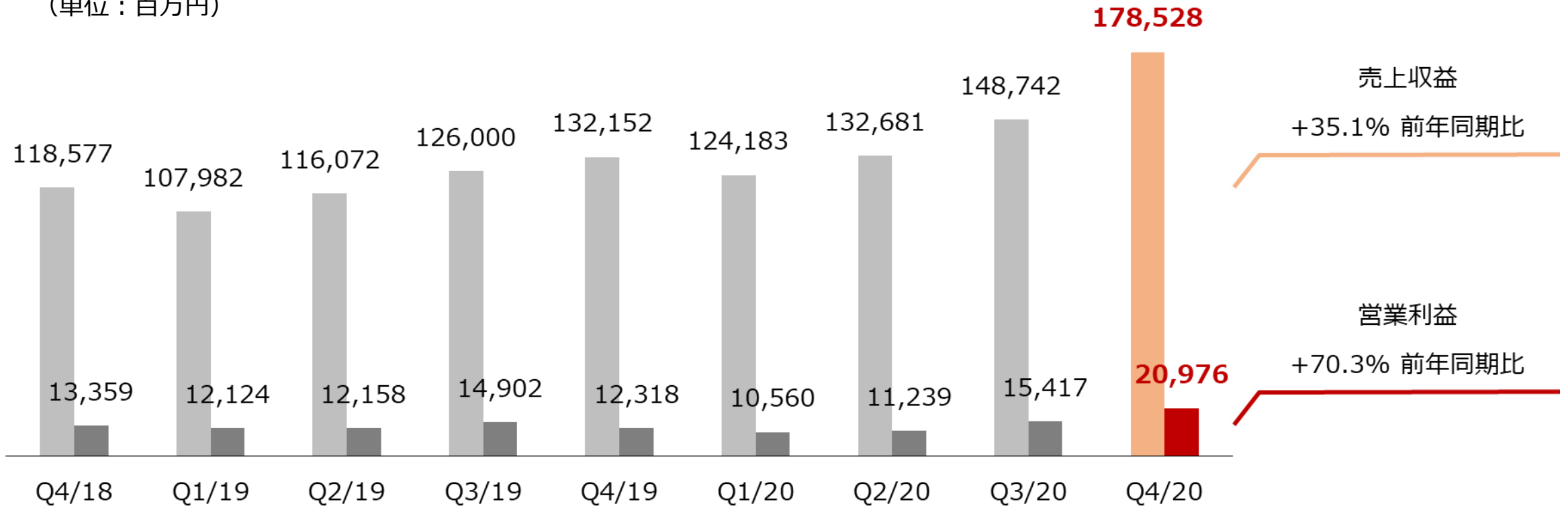
\*1 国内EC流通総額（一部の非課税ビジネスを除き、消費税込み）＝市場、トラベル（宿泊流通）、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24（ダイレクト）、オートビジネス、ラクマ、Rebates、楽天西友ネットスーパー等の流通額の合計

\*2 チケット事業をモバイルセグメントへ移管したため、数値を遡及修正

# 国内EC 四半期業績推移\*

- 楽天市場を中心としたEC事業とGotoキャンペーンの効果によりトラベル事業が牽引し、売上高は前年同期比+35.1%と力強く成長。それに伴い営業利益は物流投資があったものの、前年同期比+70.3%と大きく拡大

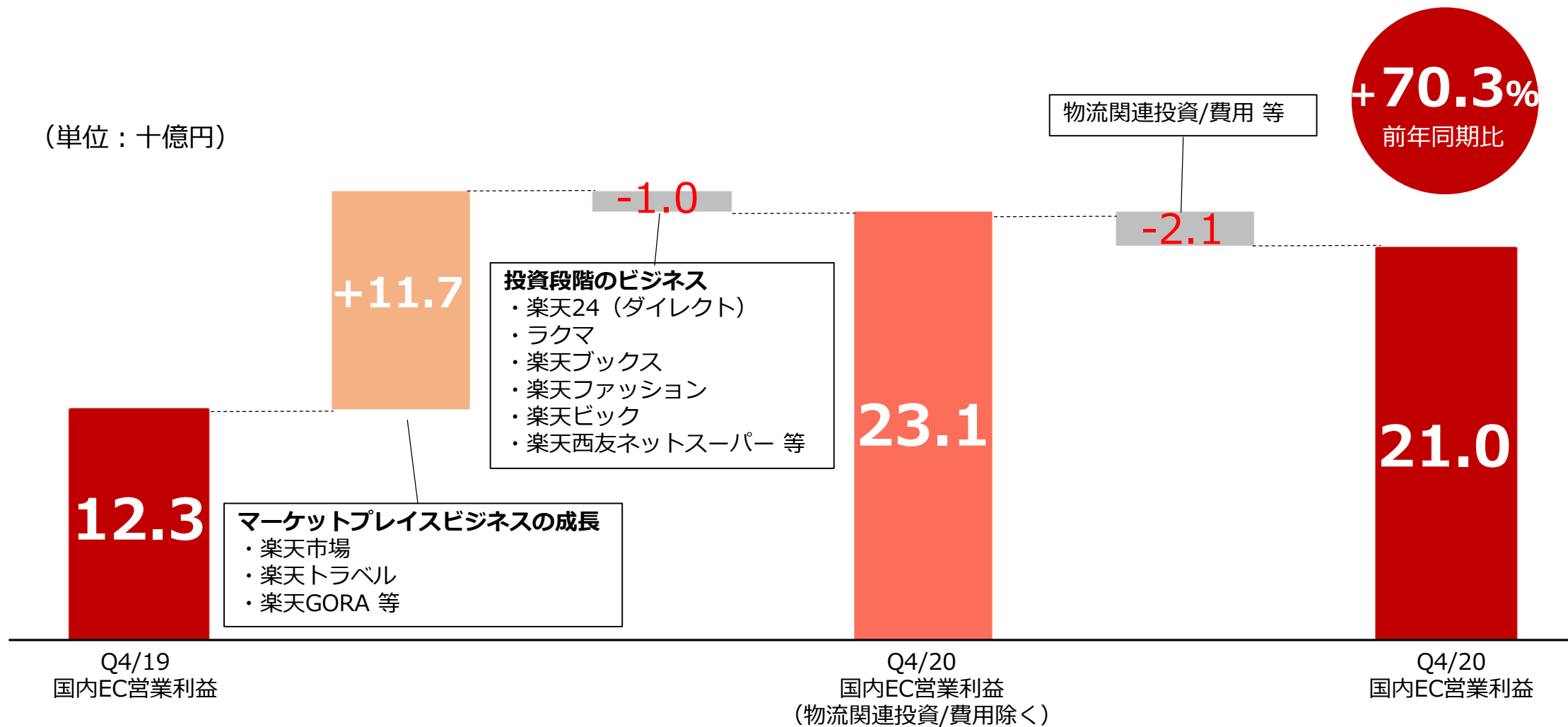
(単位：百万円)



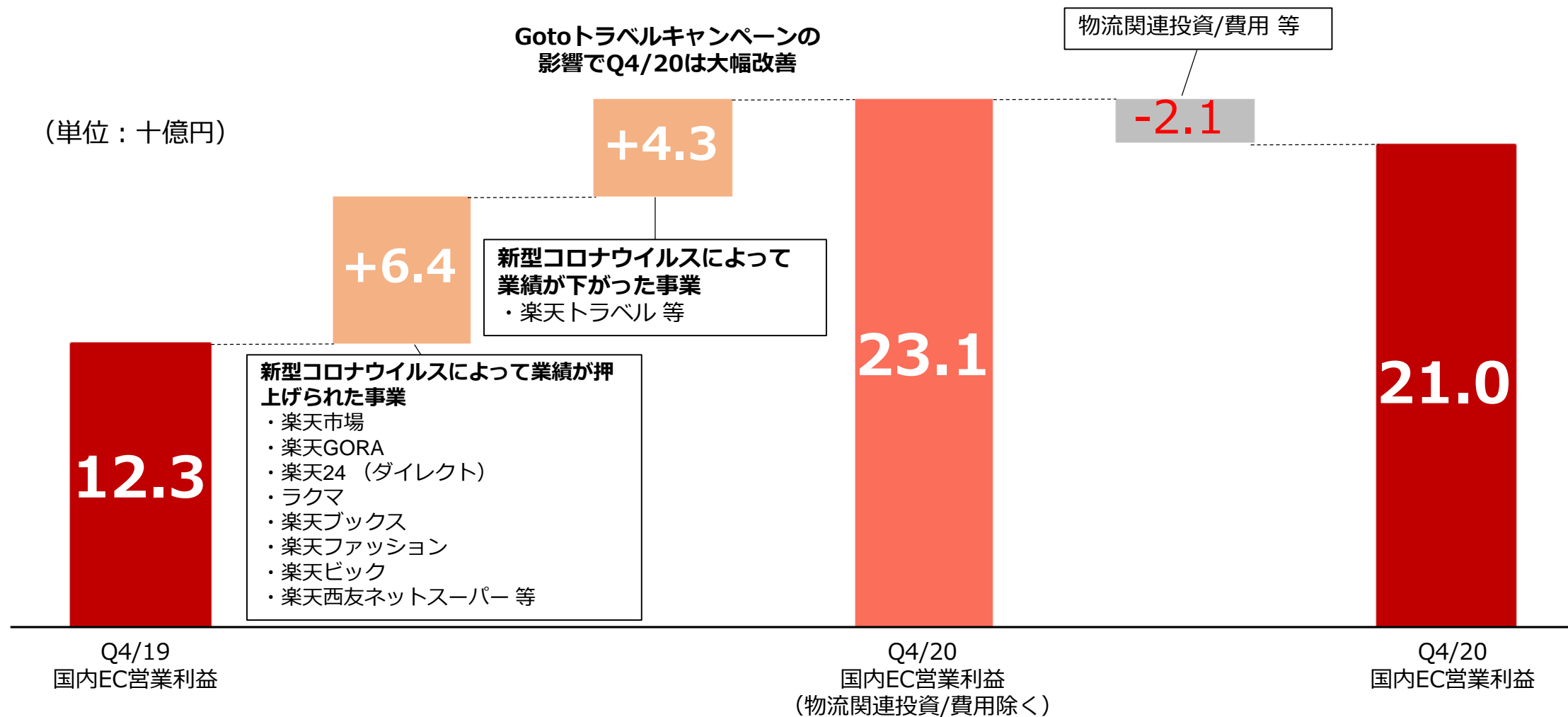
\* 国内EC=市場、トラベル、ブックス、ゴルフ、ファッション、ドリームビジネス、ビューティ、デリバリー、楽天24(ダイレクト)、物流、オートビジネス、ラクマ、Rebates等

# Q4/20 国内EC営業利益詳細

(単位：十億円)



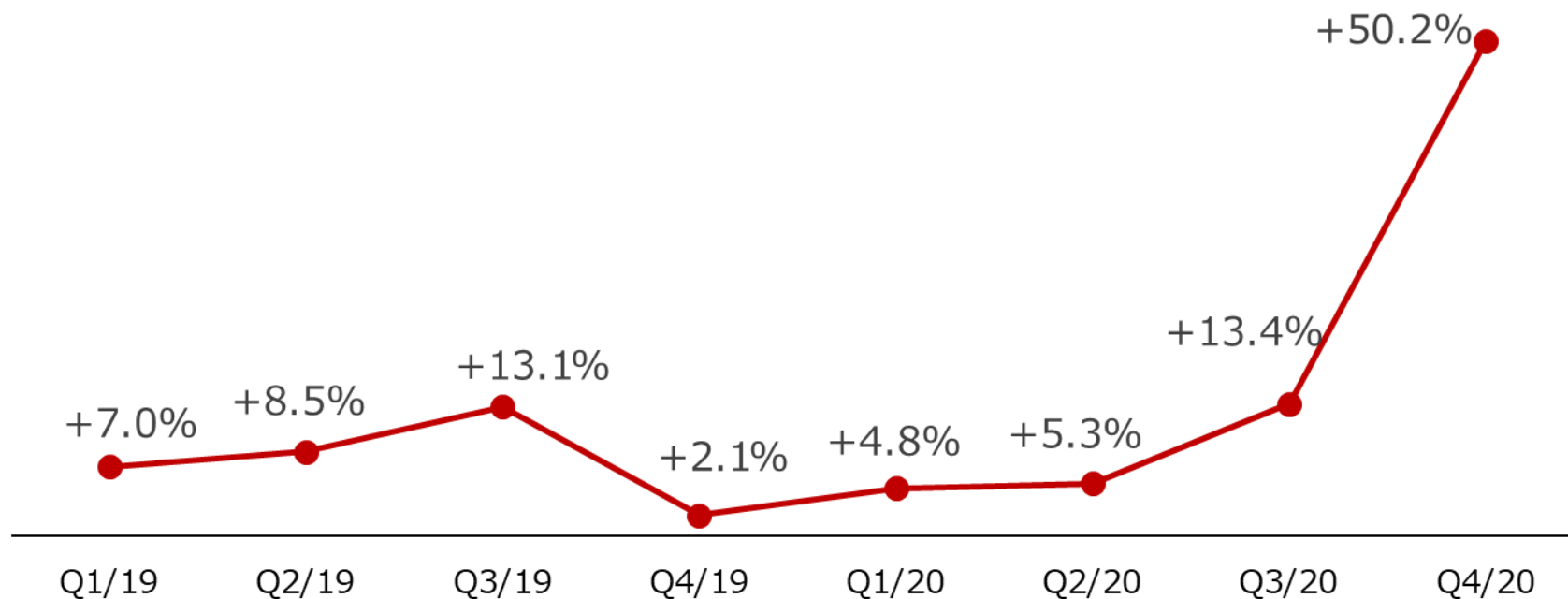
# Q4/20 国内EC営業利益詳細



# 国内EC マーケットプレイスビジネス\* 営業利益 前年比推移

- マーケットプレイスビジネスの営業利益は楽天市場の拡大、そしてGotoキャンペーンの効果による楽天トラベルと楽天GORAの成長により、力強く成長

(前年同期比)



\* マーケットプレイスビジネス=市場、トラベル、ゴルフ、ドリームビジネス等



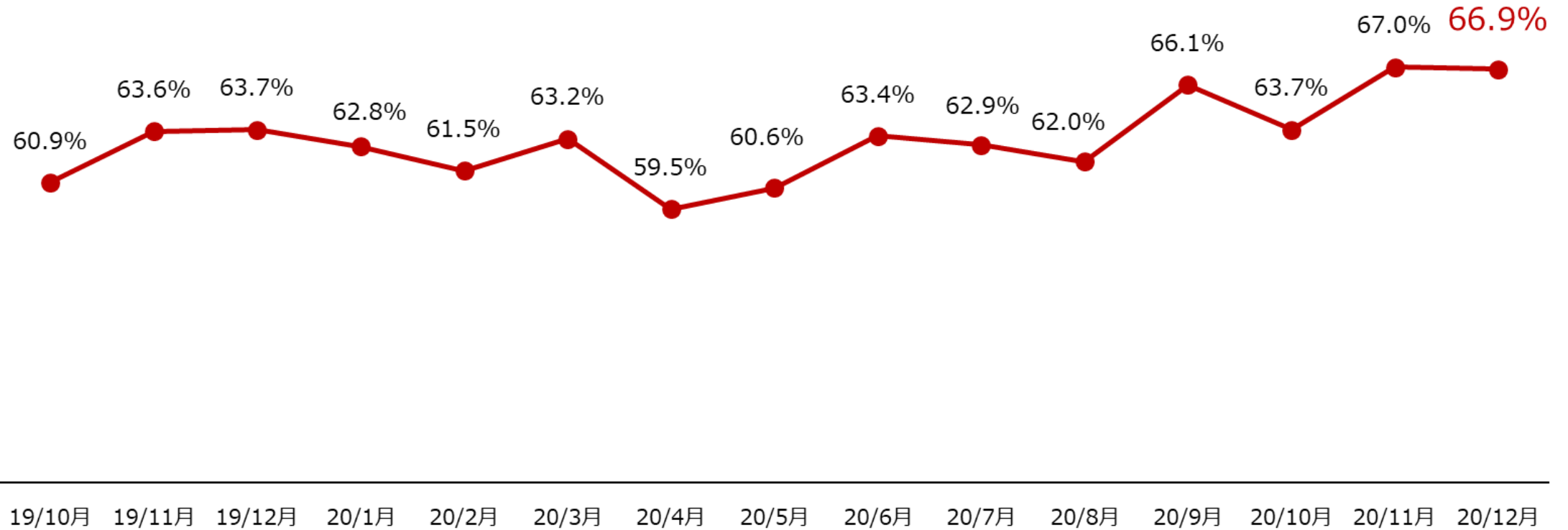
## Q4/20 楽天市場モバイル流通総額比率\*

# 76.5%

## +3.1ポイント 前年同期比

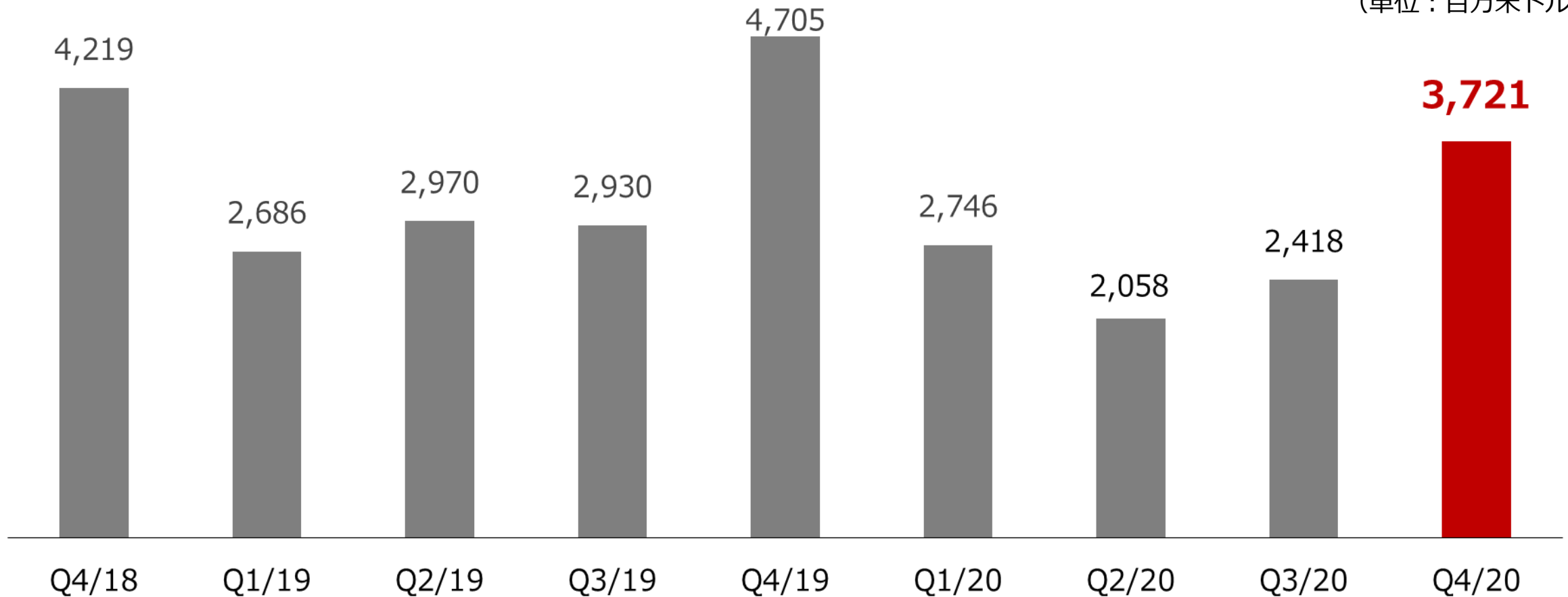
\*モバイル流通総額比率 = 楽天市場モバイル流通総額 / 楽天市場流通総額合計 (スマートフォン、タブレットを含む)

# 楽天市場流通総額における楽天カード決済比率



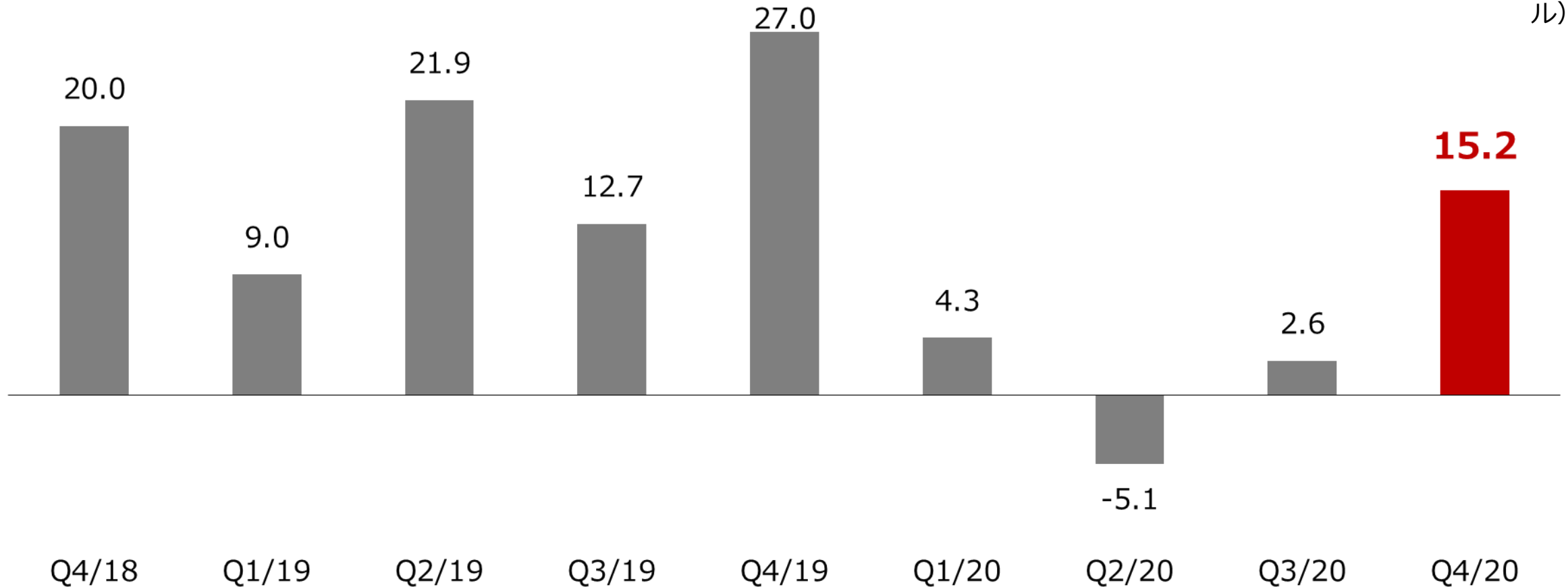
# Rakuten Rewards (Ebates) 流通総額

(単位：百万米ドル)



# Rakuten Rewards (Ebates) 営業利益推移\*1\*2

(単位：百万米ドル)

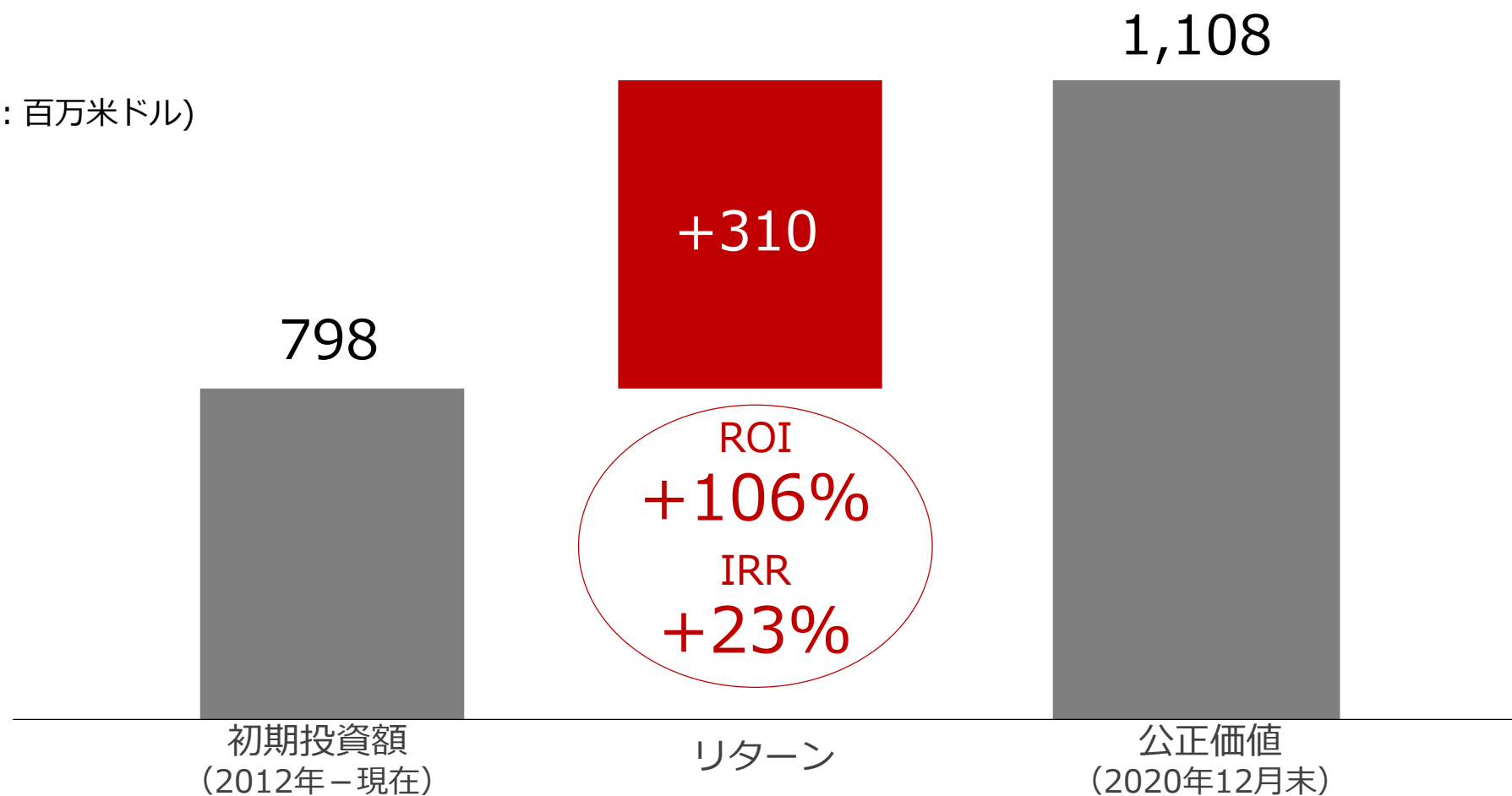


\*1 リブランディング費用36.3百万米ドル(Q1/19)、30.4百万米ドル(Q2/19)、20.4百万米ドル(Q3/19)、27.4百万米ドル(Q4/19)、5.2百万米ドル(Q1/20)、5.1百万米ドル(Q2/20)、6.3百万米ドル(Q3/20)及び2.5百万米ドル(Q4/20)を除く

\*2 社内における配賦費用の付け替え等に伴い営業利益を変更しており、過去の営業利益も遡及修正済み

# マイノリティー投資のパフォーマンス\*1\*2

(単位：百万米ドル)



\*1 Lyftと楽天メディカルは、インキュベーションビジネスへの移管により投資事業ポートフォリオには含まないが、エグジットした投資としてリターンに含む

\*2 Lyftと楽天メディカルを除いたリターン：ROI +82%、IRR +15% (投資事業に限定した場合：ROI +96%、IRR +18%)

# マイノリティー投資ポートフォリオ

## インターネット

SHOPBACK

carousell

from scratch

fever

OneSignal

epic!

## ライドシェア

Careem

Glovo?

lyft\*

(アセットファイナンス)

gojek

cabify

## フィンテック

BlueVine

Upstart  
(IPO)

TORANOTEC

## ヘルスケア

airweave

Rakuten Medical\*  
(関連会社)

overture

Genesis Healthcare

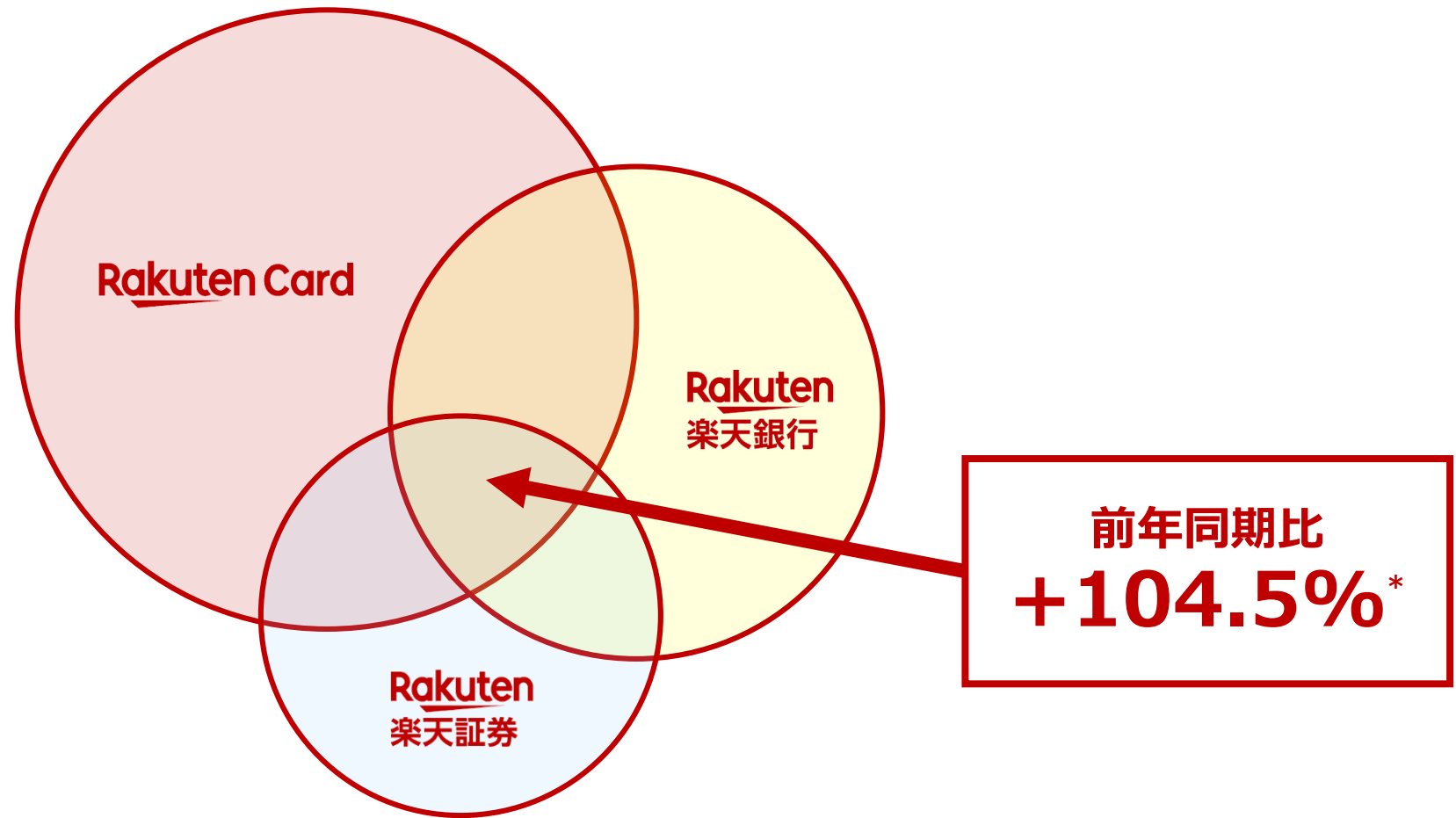
\* Lyftおよび楽天メディカルは、それぞれ2019年4月と9月に投資事業から移管、アセットファイナンス（Lyft）と戦略的投資（楽天メディカル）に変更

# フィンテックセグメント

# フィンテック事業間のクロスユース事例

- フィンテックサービス間のクロスユースは飛躍的に拡大

(ユニークユーザー数)



\* 2020年12月時点

\* Q3/20よりクロスユースの集計方法を変更



# FY2020 フィンテックセグメント 業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	261.3	+13.7%	37.7	+15.8%
楽天銀行	95.5	+7.2%	28.1	+3.7%
保険事業	106.4	-0.1%	7.5	+87.4%
楽天ペイメント	33.1	+14.6%	-6.8	-14.7億円
その他	5.8	+301.4億円	-1.9	-18.2億円
フィンテック 合計 (楽天証券除く)	502.1	+16.8%	64.7	+11.0%
楽天証券	74.1	+31.0%	16.6	+50.8%
フィンテック 合計	576.2	+18.5%	81.3	+17.3%

\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

\* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

# Q4/20 フィンテックセグメント業績サマリー

(単位：十億円)

	売上収益	前年同期比	営業利益	前年同期比
楽天カード	68.8	+7.8%	7.2	-10.5%
楽天銀行	24.7	+7.5%	7.2	+2.7%
保険事業	26.0	-15.5%	2.9	+9.4%
楽天ペイメント	9.2	+4.2%	-2.5	-8.4億円
その他	1.6	+99.7億円	-1.0	-9.0億円
フィンテック 合計 (楽天証券除く)	130.3	+10.4%	13.8	-13.5%
楽天証券	20.2	+40.2%	4.1	+68.5%
フィンテック 合計	150.5	+13.7%	17.9	-2.6%

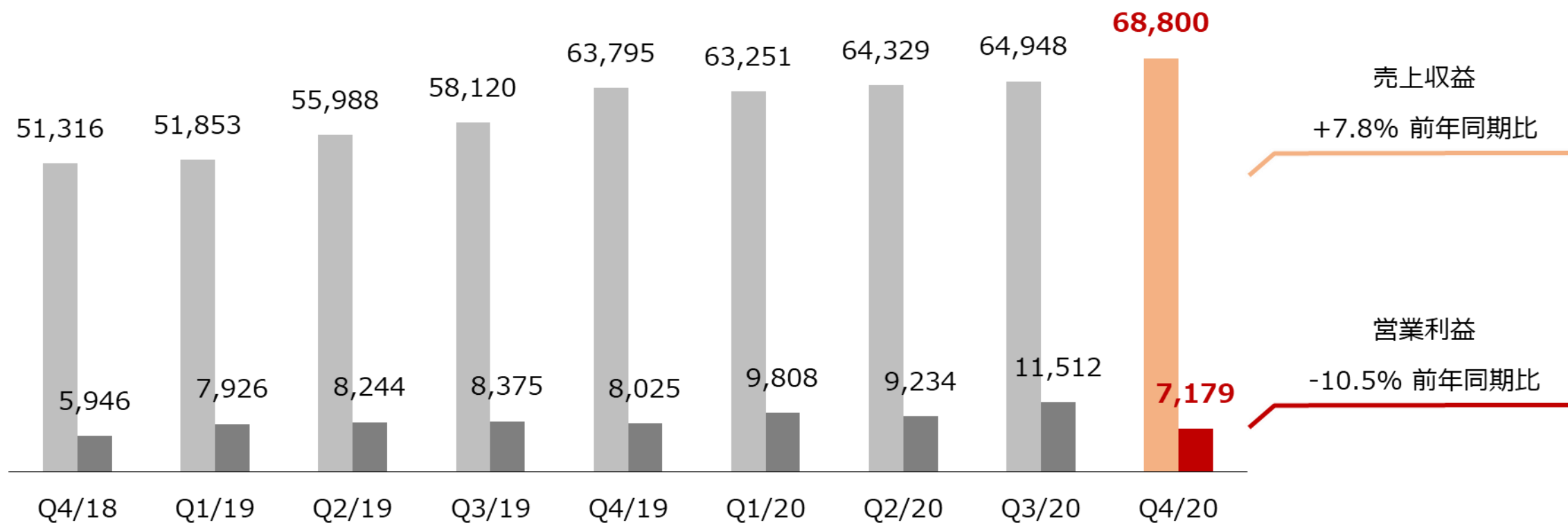
\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

\* 楽天銀行：Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。

# 楽天カード 四半期業績推移

- オンラインシフトに対応すべくマーケティング費は増えたものの、楽天グループ貢献は拡大。
- 通期営業利益は前年同期比+15.8%を達成。

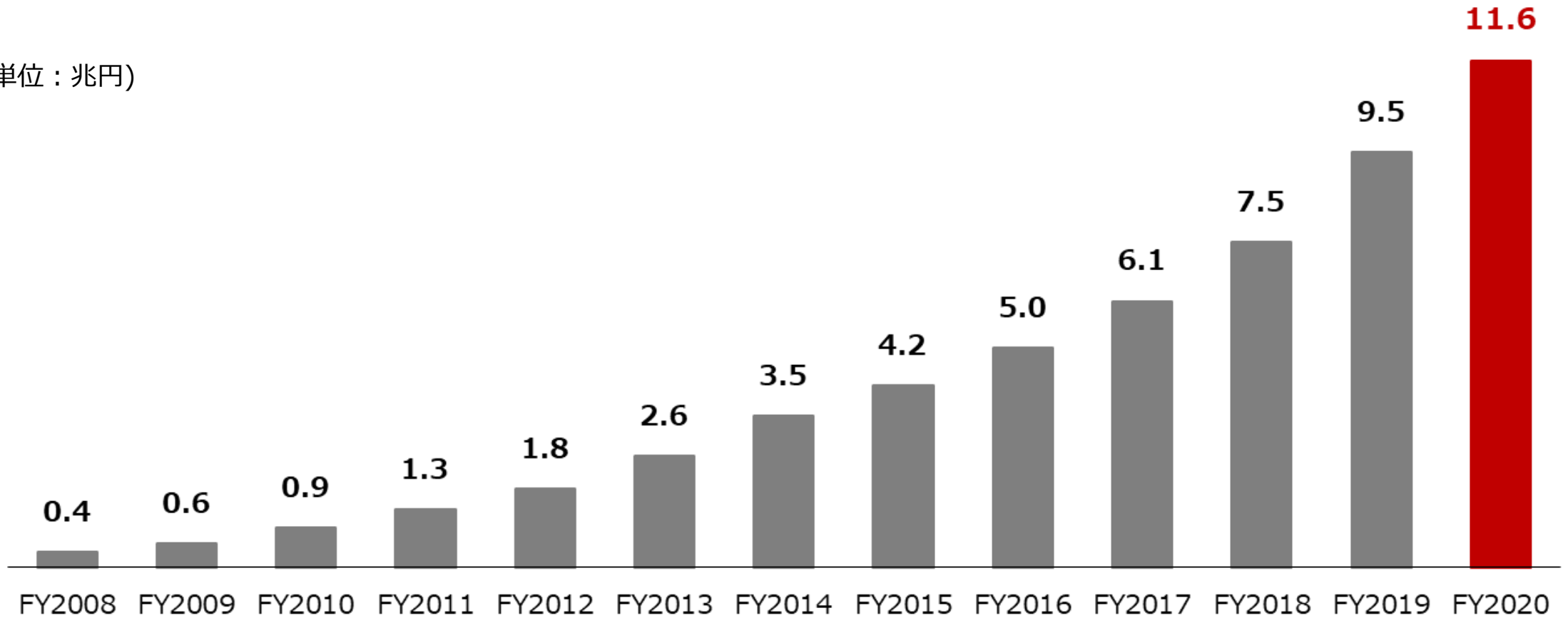
(単位：百万円)



# 楽天カード ショッピング取扱高\*

■ ショッピング取扱高は2020年に11.6兆円を突破

(単位：兆円)

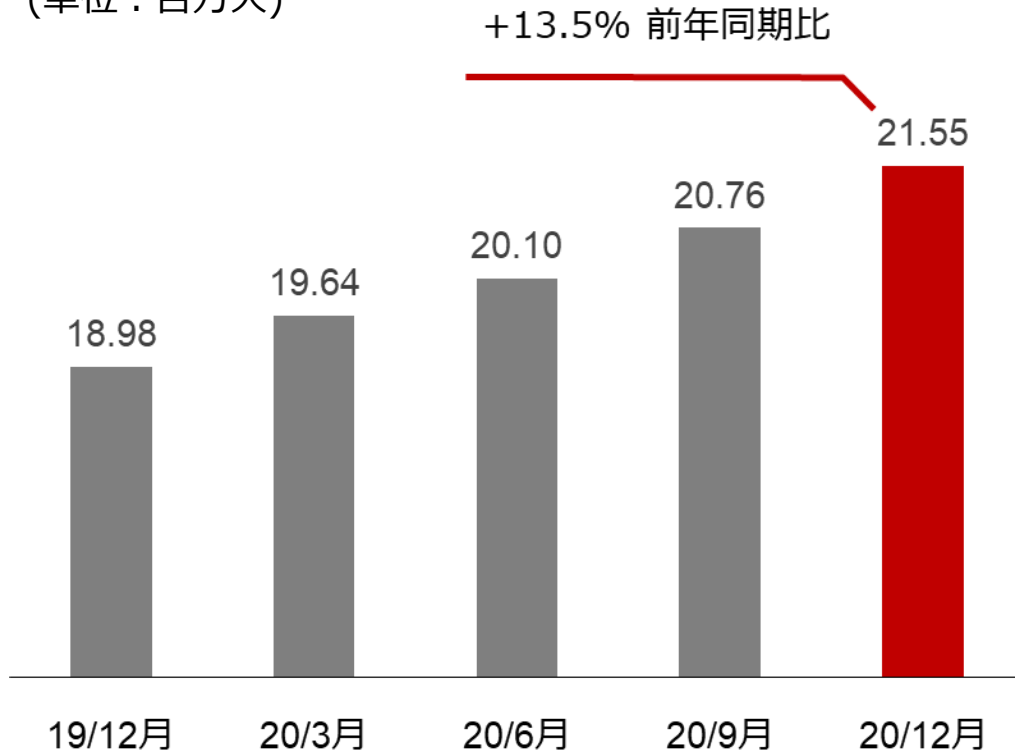


\*管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

# 楽天カード 経営指標\* (1)

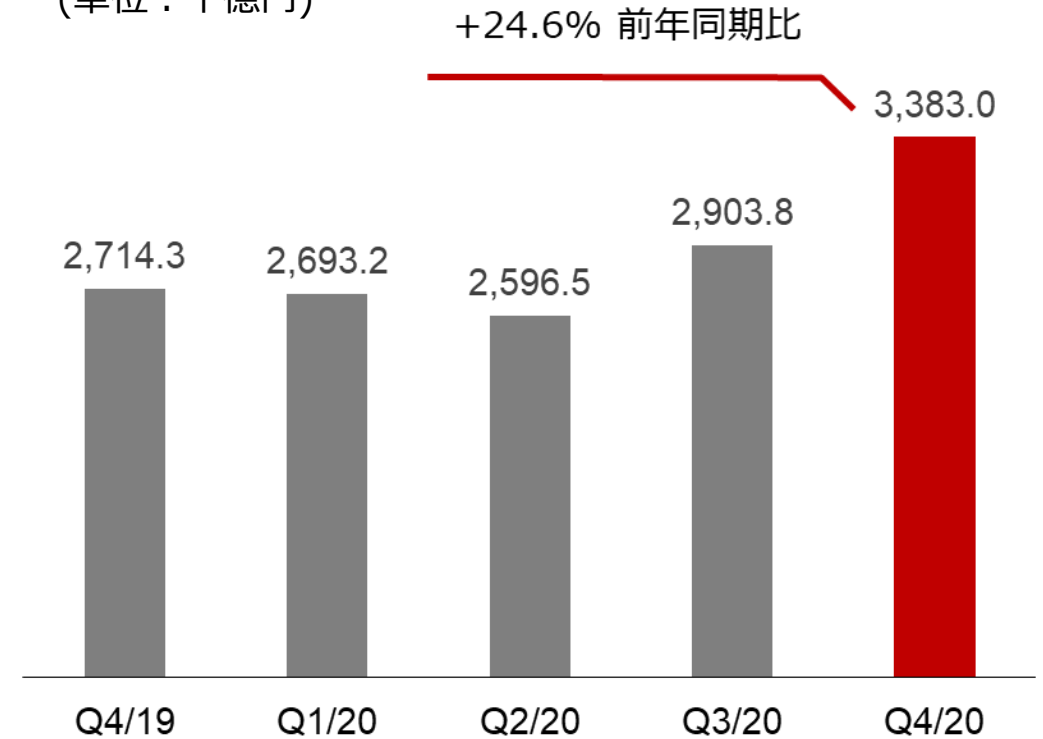
## カード会員数

(単位：百万人)



## ショッピング取扱高

(単位：十億円)

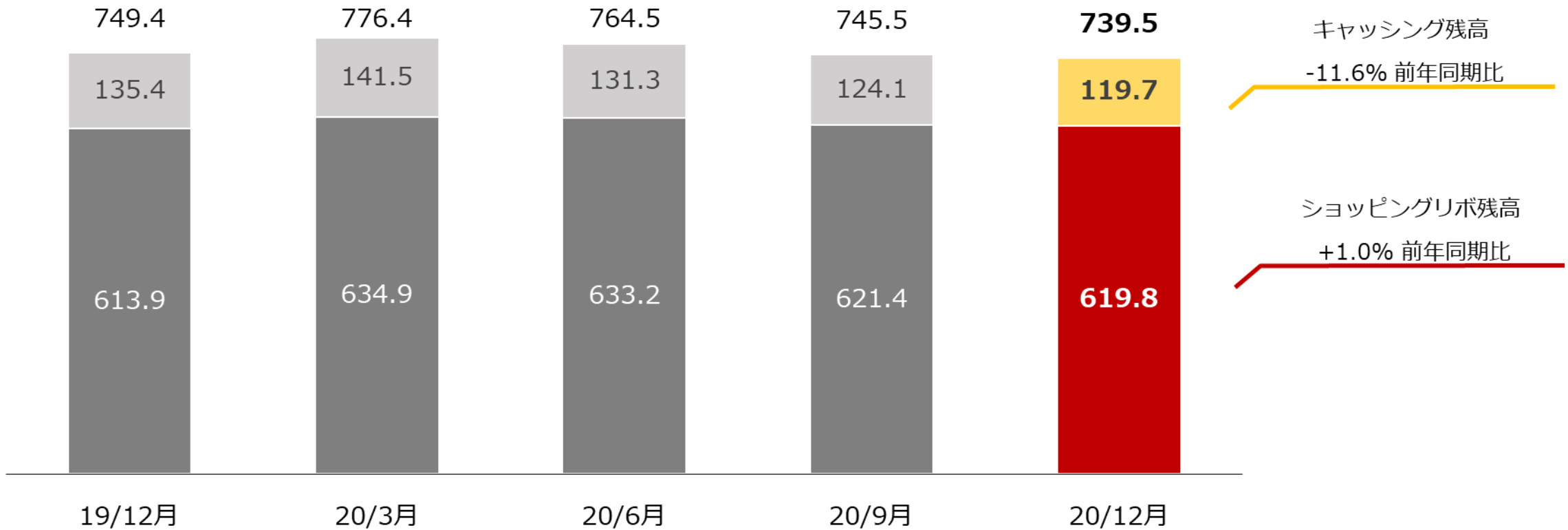


\* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。

# 楽天カード 経営指標\* (2)

(単位：十億円)

## ショッピングリボ残高及びキャッシング残高



\* 管理会計ベース。参考資料とは異なる定義。その他のクレジットカードの数値は参考資料に掲載。リボ残高は元本ベース

# 楽天カード 貸倒関連比率

(単位：百万円)

	Q4/19	Q1/20	Q2/20	Q3/20	Q4/20	前年同期比
貸倒関連費用	11,528	9,842	11,809	8,950	11,789	+2.3%
貸倒関連費用比率 <sup>*1</sup>	2.13%	1.77%	2.15%	1.63%	2.03%	-

	Q4/19	Q1/20	Q2/20	Q3/20	Q4/20	前年同期比
<b>楽天カード</b>	<b>1,874,061</b>	<b>1,802,438</b>	<b>1,831,263</b>	<b>1,839,869</b>	<b>2,097,002</b>	<b>+11.9%</b>
ステージ1 (正常)	1,794,230	1,717,959	1,741,588	1,750,887	2,008,991	+12.0%
ステージ2 (未収1~2ヶ月)	11,408	13,451	11,745	11,633	12,414	+8.8%
ステージ3 (未収3ヶ月以上/貸出条件緩和債権)	68,423	71,027	77,930	77,349	75,597	+10.5%
<b>楽天銀行保証</b>	<b>384,469</b>	<b>385,680</b>	<b>371,907</b>	<b>359,857</b>	<b>347,727</b>	<b>-9.6%</b>
ステージ1 (正常/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	345,922	347,551	333,715	323,023	312,551	-9.6%
ステージ2 (遅延30日以上/信用保証債務残高 <sup>*2</sup> )	127	135	83	127	114	-10.1%
ステージ3 (求償債権)	38,420	37,994	38,109	36,707	35,062	-8.7%
<b>その他</b>	<b>1,065</b>	<b>1,010</b>	<b>963</b>	<b>934</b>	<b>902</b>	<b>-15.2%</b>
<b>債権残高・保証残高 合計</b>	<b>2,259,594</b>	<b>2,189,128</b>	<b>2,204,133</b>	<b>2,200,660</b>	<b>2,445,632</b>	<b>+8.2%</b>
引当金残高 <sup>*3</sup>	94,265	95,109	99,504	96,898	94,890	+0.7%
貸倒償却額 <sup>*4</sup>	10,766	8,999	7,416	11,561	13,801	+28.2%

\*1 貸倒関連費用比率 = 貸倒関連費用 ÷ 債権残高・保証残高合計の期首期末平均 × 4

\*2 楽天銀行における楽天銀行スーパーローン残高のうち、楽天カードが信用保証する残高

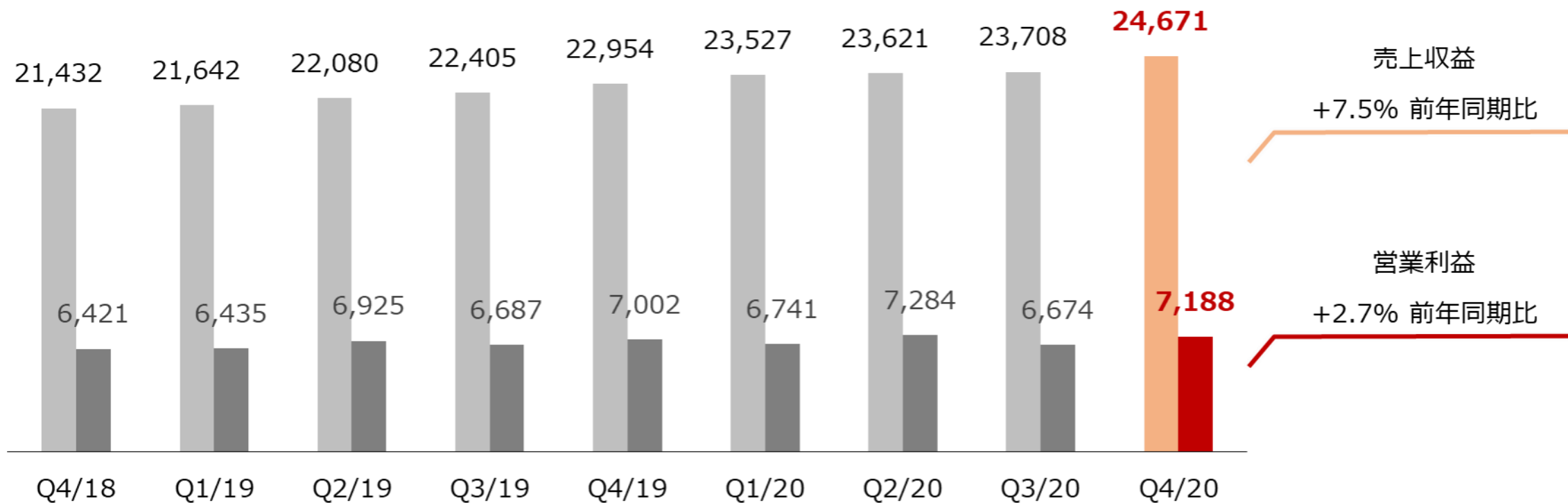
\*3 債務保証損失引当額を含む

\*4 貸倒償却には債権譲渡損を含む

# 楽天銀行 四半期業績推移

- マイナス金利政策下で多くの銀行の収益が低迷する中、決済を中心に役務収益を大きく伸ばし、増収増益を確保

(単位：百万円)

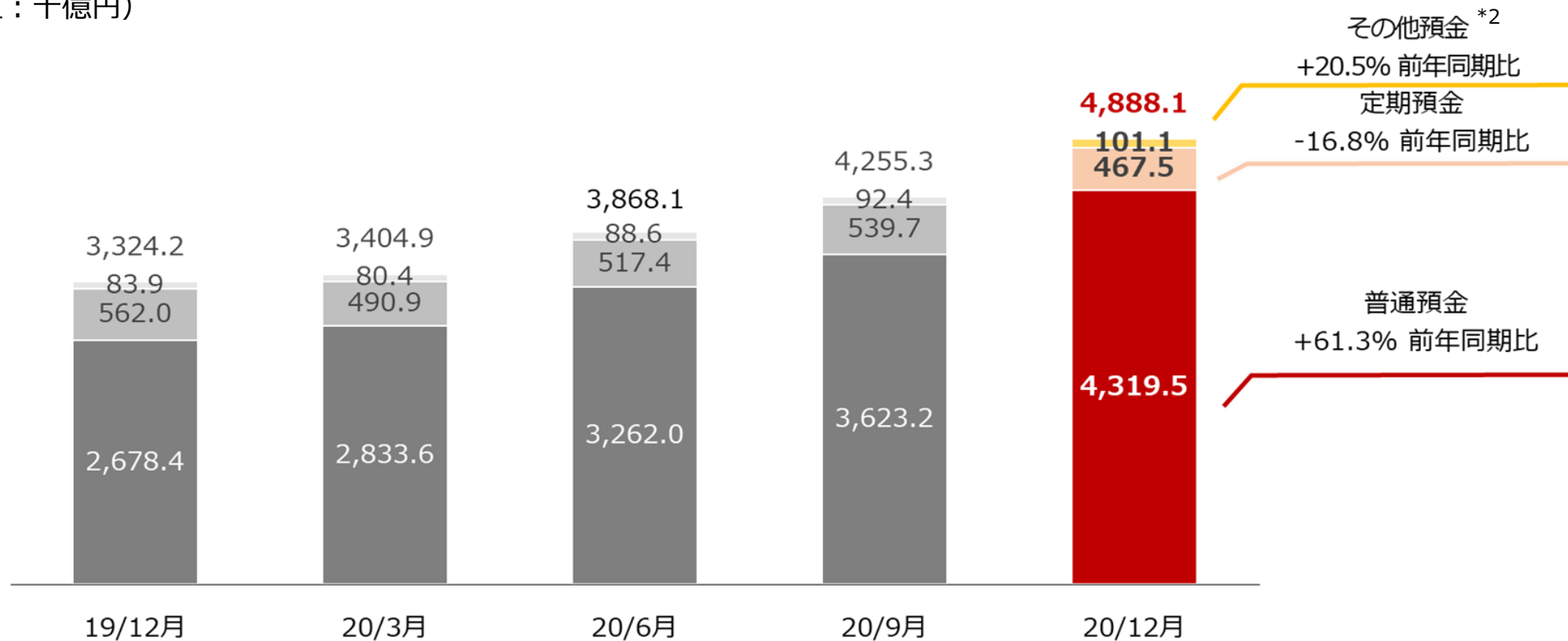


\* Q2/20に台湾における現地合併会社（楽天国際商業銀行股份有限公司）を連結子会社化。上記PLには含まない。



# 楽天銀行 預金残高推移\*1

(単位：十億円)

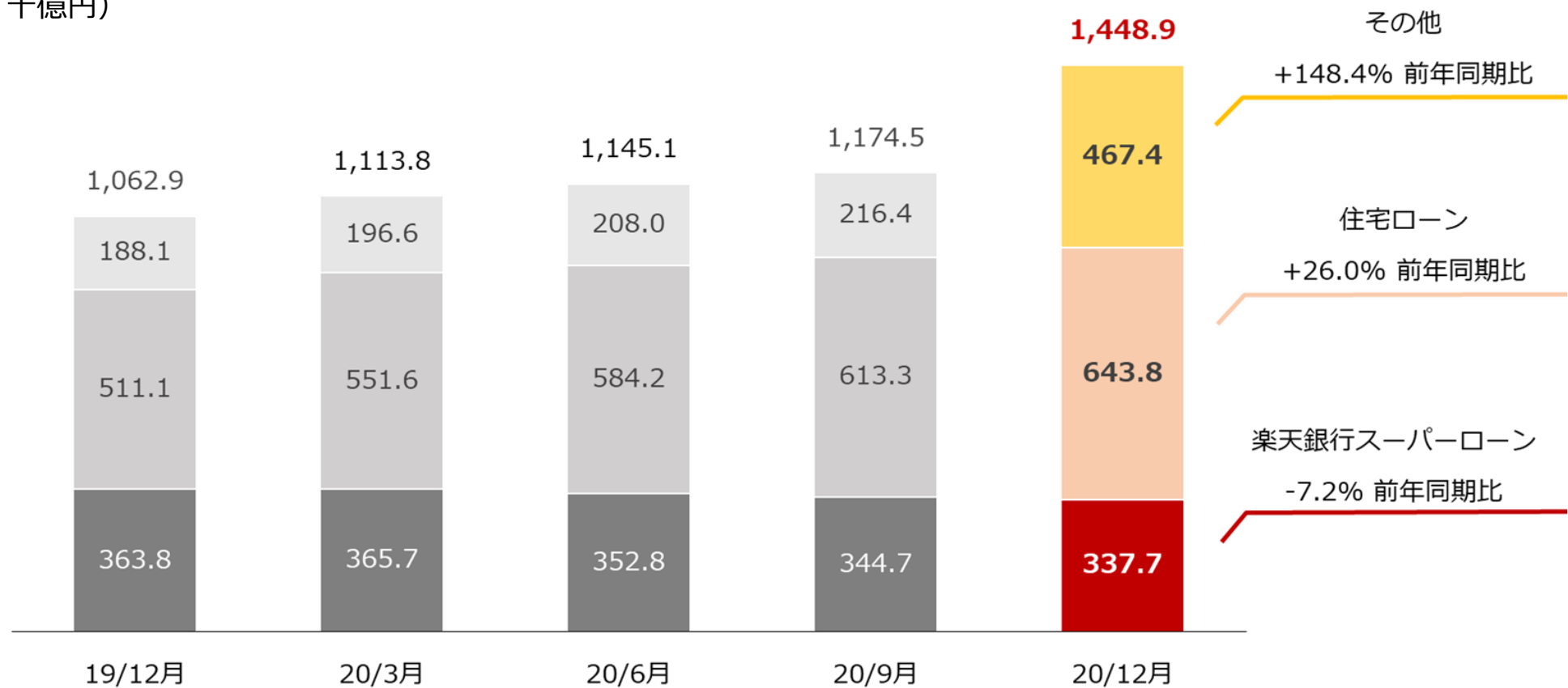


\*1 預金残高はIFRSベース（定期預金は、特約定期預金のデリバティブを含む）。楽天銀行連結ベース

\*2 その他預金には別段預金その他、外貨預金等を含む

# 楽天銀行 貸出金残高推移

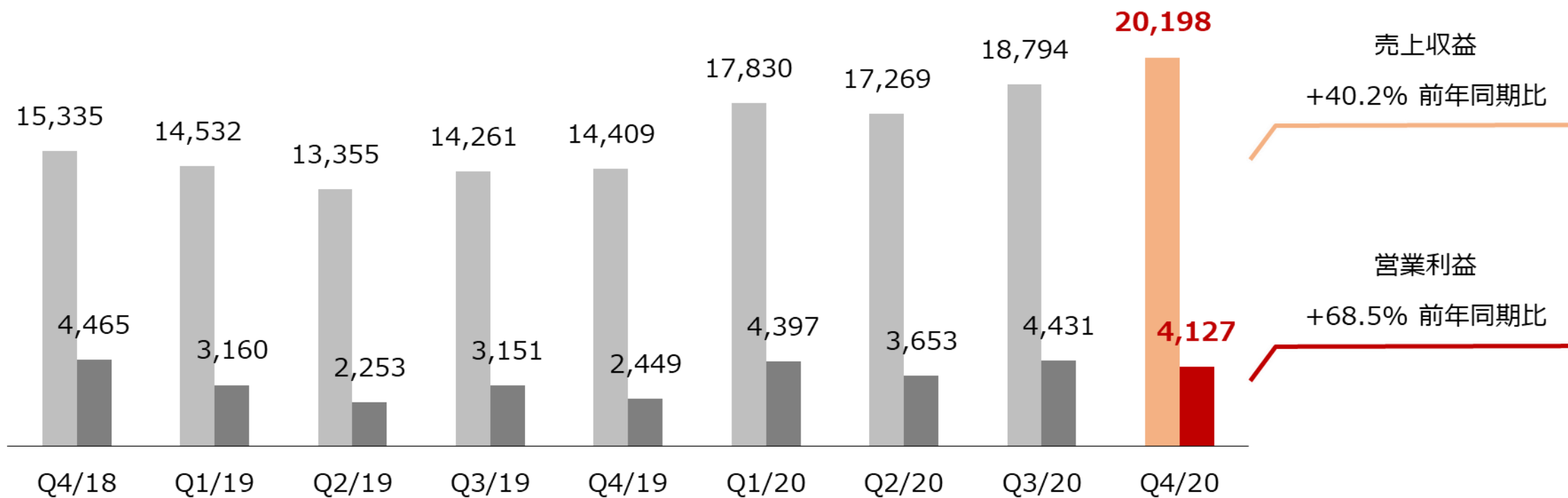
(単位：十億円)



# 楽天証券 四半期業績推移

- 国内株式及び米国株式の取引量増加により、売上収益は前年同期比+40.2%、営業利益は前年同期比+68.5%を達成

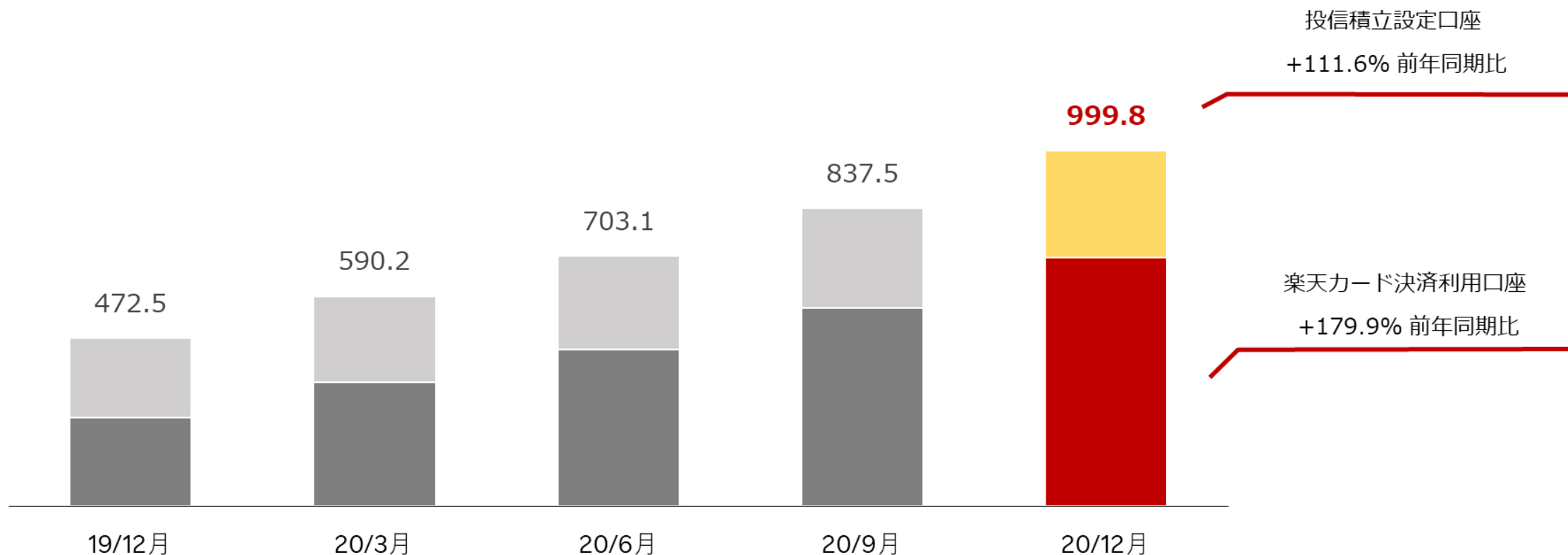
(単位：百万円)



# 楽天証券 投信積立口座数の増加

- 投信積立の「楽天カード」クレジットカード決済でのポイント付与やポイント投資等の施策により、投信積立設定口座数、楽天カード決済利用口座が増加

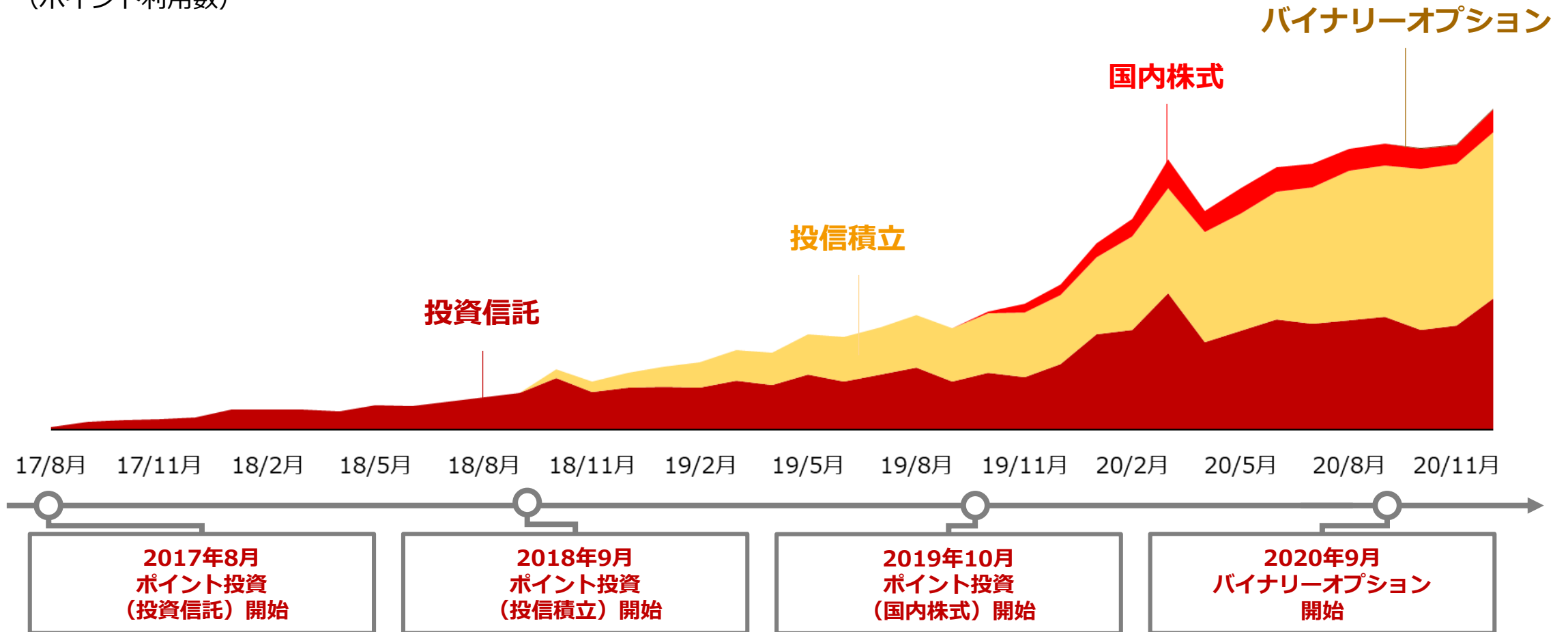
(単位：千口座)



# 楽天証券 ポイント投資

- ポイント投資でのポイント利用数は堅調に増加

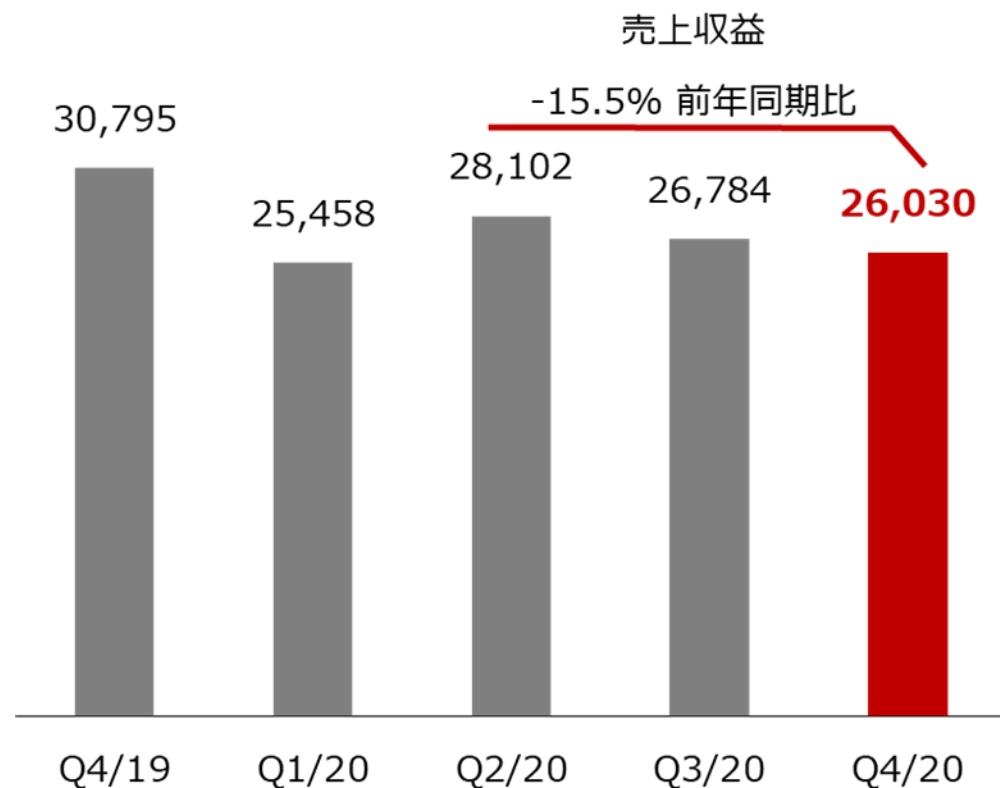
(ポイント利用数)



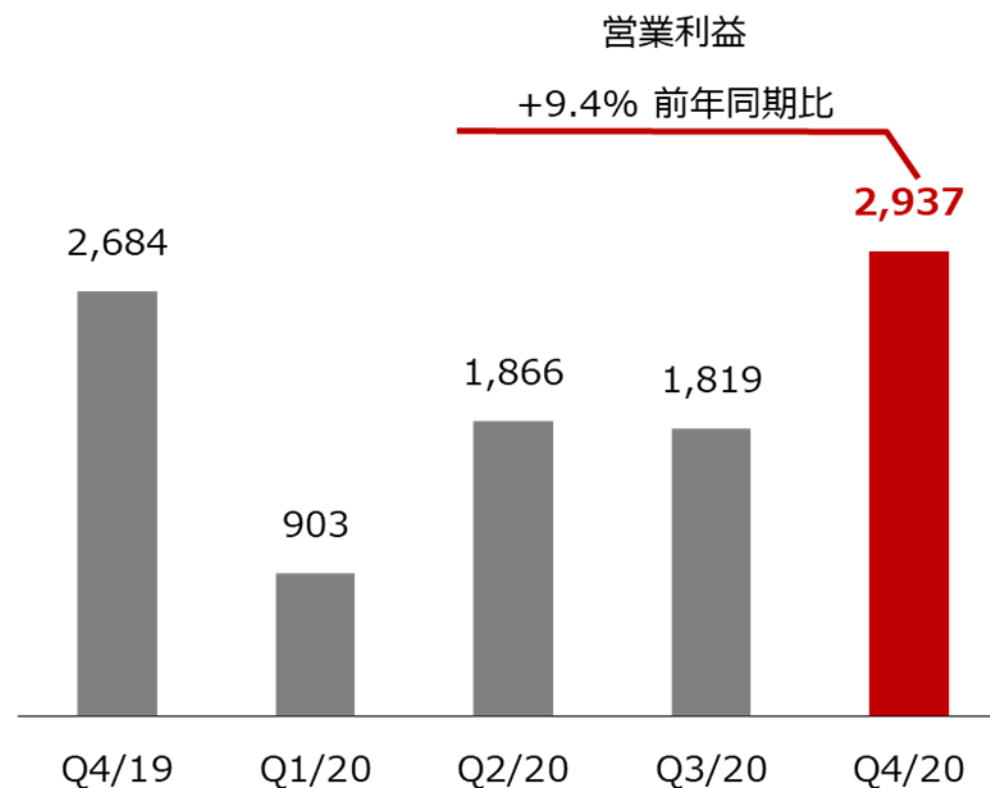
# 保険事業 業績推移

- 売上収益は前期Q4に有価証券売却が含まれているため、前年同期比では減少。営業利益は順調に拡大し、年間75億円を超える規模にまで成長

(単位：百万円)



(単位：百万円)



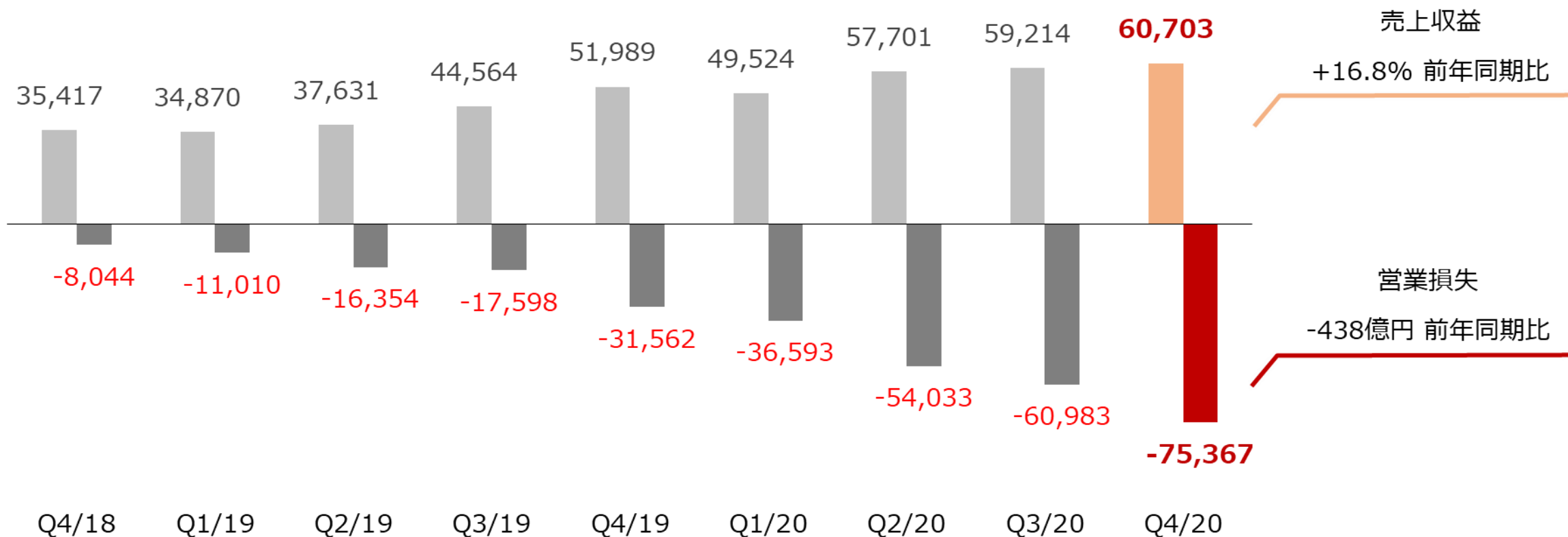
\* 保険事業は生命保険、損害保険、ペット保険、保険代理店を含む。詳細なデータは参考資料に掲載。

# モバイルセグメント

# モバイル 四半期業績推移\*

- 基地局建設の計画前倒しに伴い、基地局関連コストが増加

(単位：百万円)



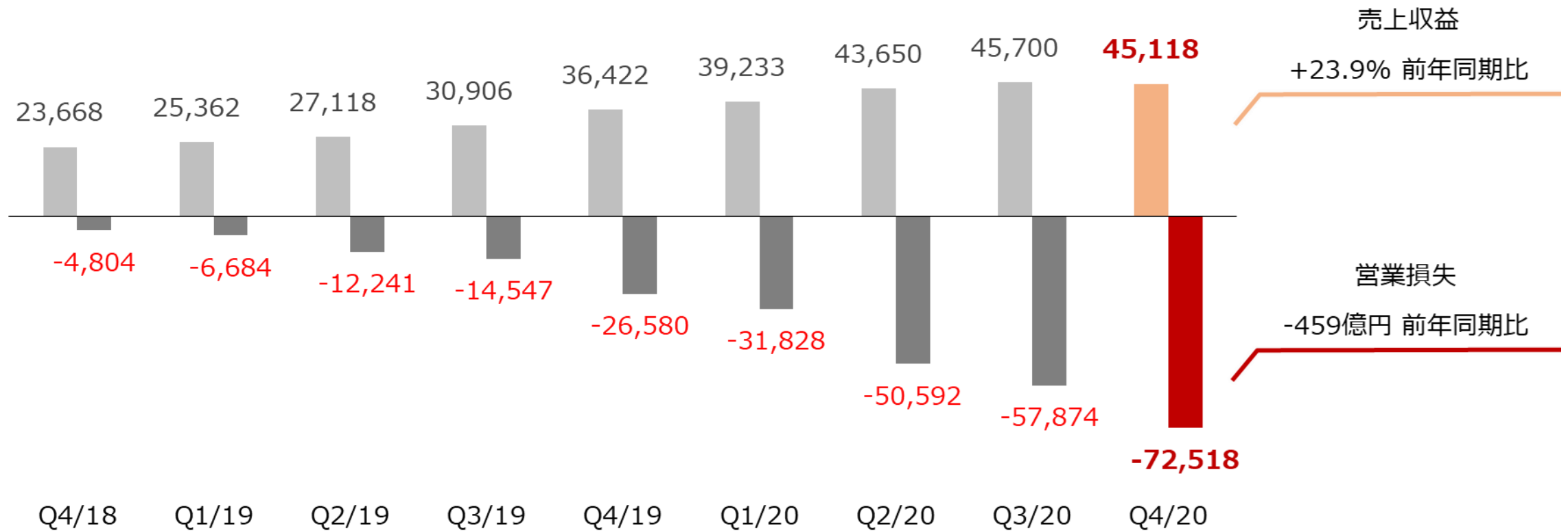
\* モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業、コンテンツ事業により構成



# モバイル 四半期業績推移（旧モバイルセグメント\*）

- 基地局建設の計画前倒しに伴い、基地局関連コストが増加

（単位：百万円）



\* 旧モバイルセグメントは楽天コミュニケーションズ、MNO事業、MVNE/O事業、Rakuten Viber、エナジー事業により構成

# モバイル 貸借対照表

(単位：百万円)

IFRS貸借対照表, Balance Sheet (IFRS)	Q4/20
資産, Assets	
有形固定資産, Fixed assets	415,270
無形資産, Intangible assets	58,024
その他の資産, Other assets	187,648
資産合計, Total Assets	660,942

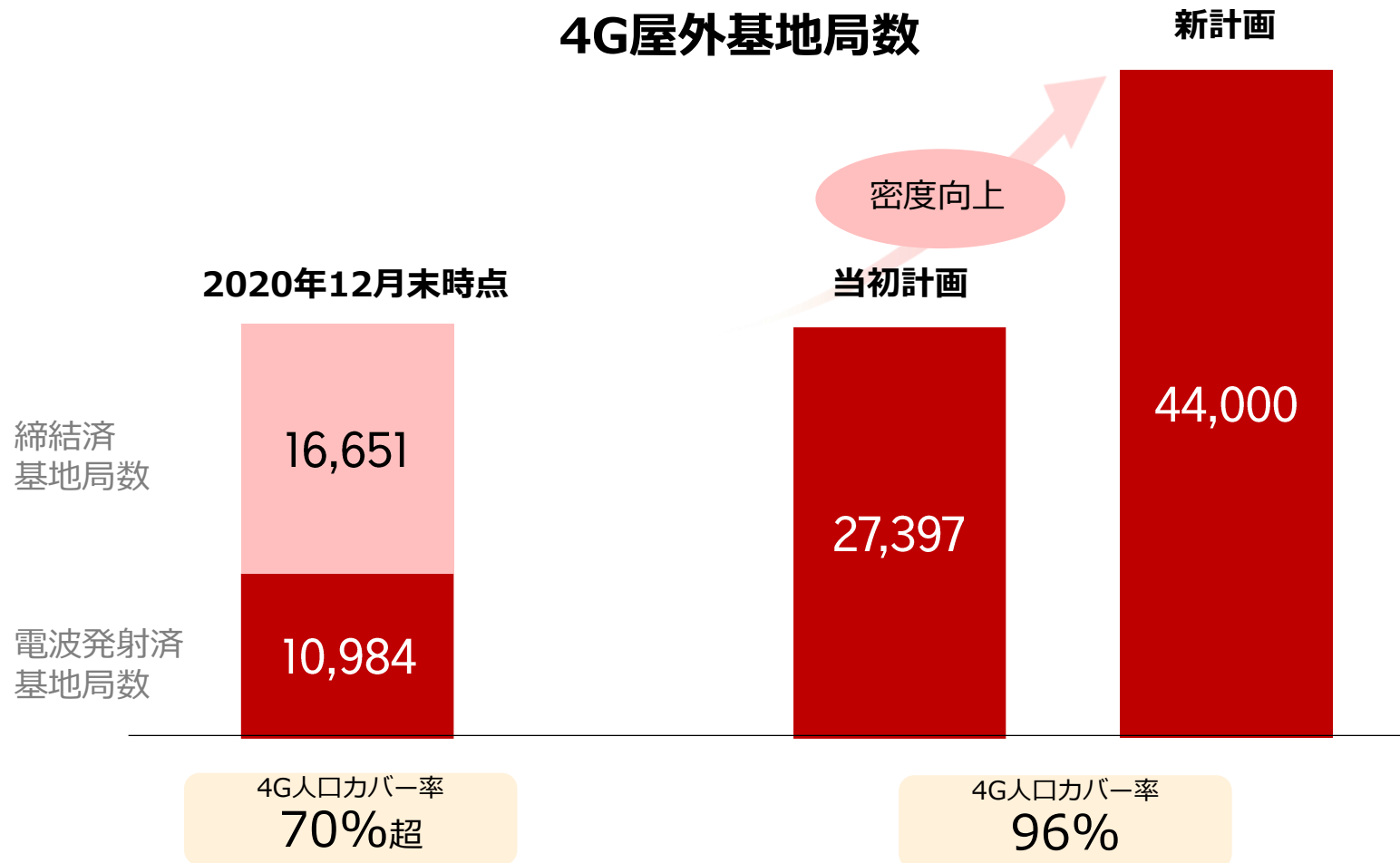
負債及び資本, Liabilities and net assets	
借入金, Borrowings *	228,333
リース債務, Lease liabilities**	111,473
その他の負債, Other liabilities	140,479
負債合計, Total liabilities	480,285
資本合計, Total net assets	180,657
負債及び資本合計, Total liabilities and net assets	660,942

\* 主にリースファイナンス及び親会社からの借り入れによる負債が計上されています

\*\* リース債務には、IFRS16による賃借料等の将来に渡る見込債務が計上されています

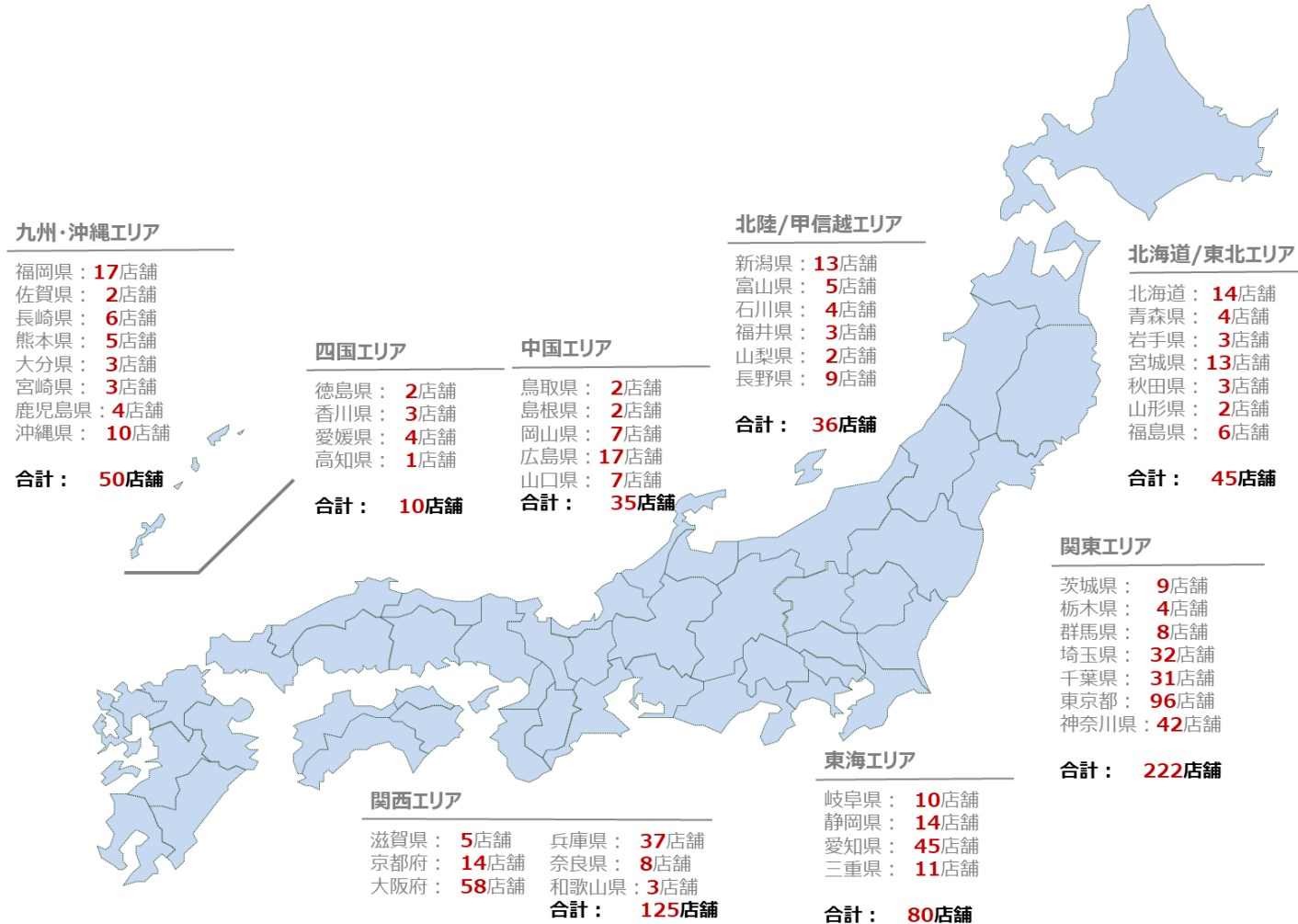
# 基地局整備・人口カバー率・設備投資額

- 基地局の高密度化による通信品質の向上及び今後見込まれる利用者の増加に対応するため、基地局数を44,000局程度まで増加
- 設備投資額は4G 6,000億円から30%-40%程度の増加にとどまる見込み



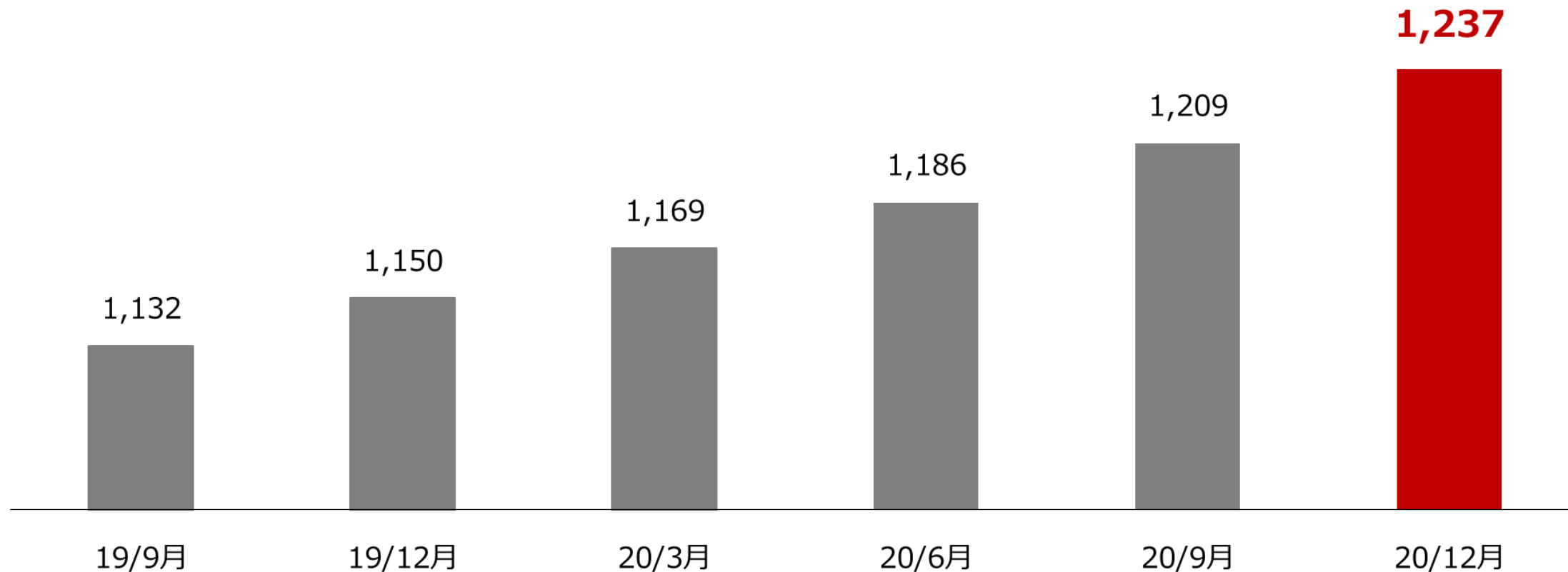
# 楽天モバイル 実店舗ネットワーク

■ 2021年1月時点 店舗数 : 603



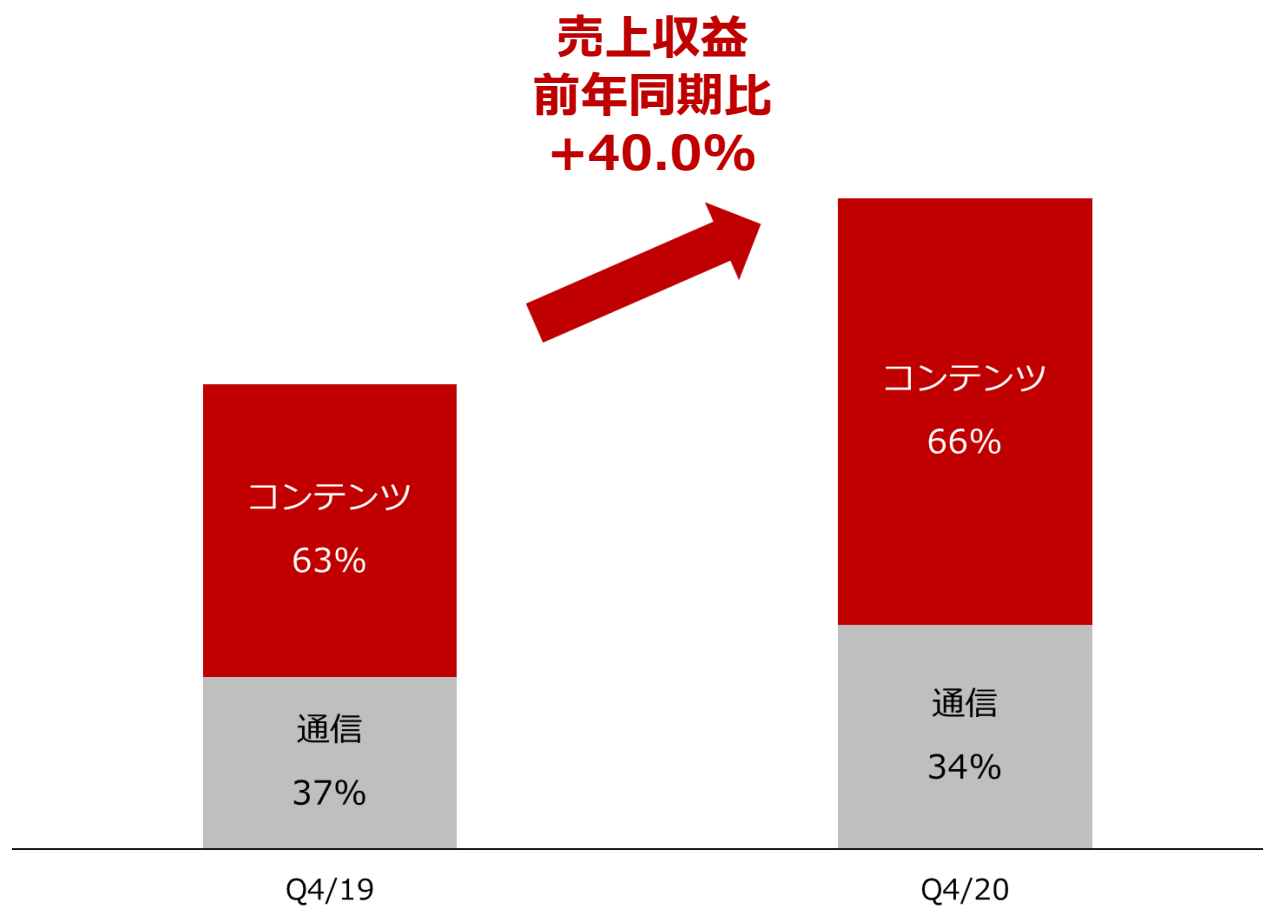
# Viber ユニークID数\*

(単位：百万ID)



\* ユニーク携帯番号登録者数 (解約者を除く)

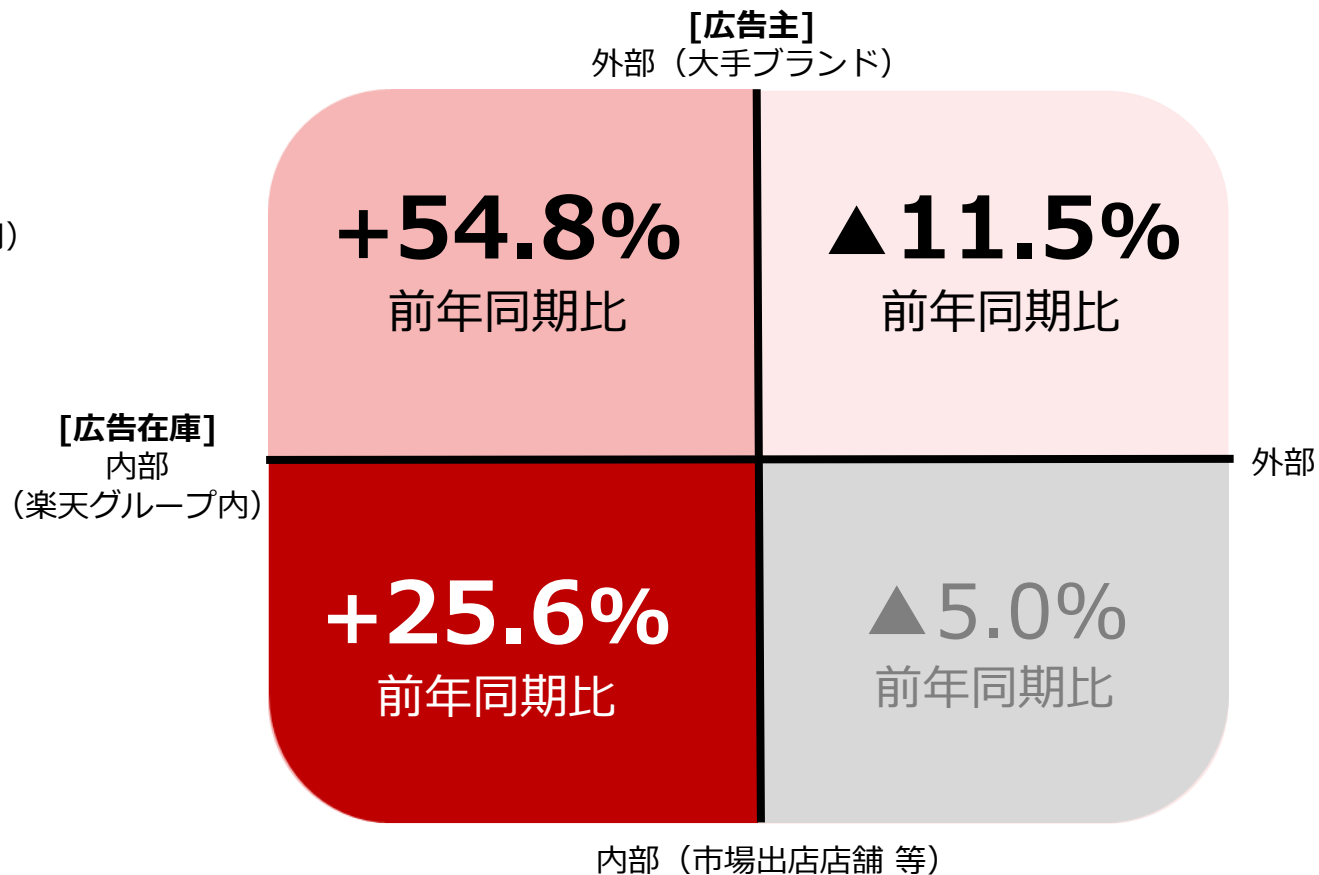
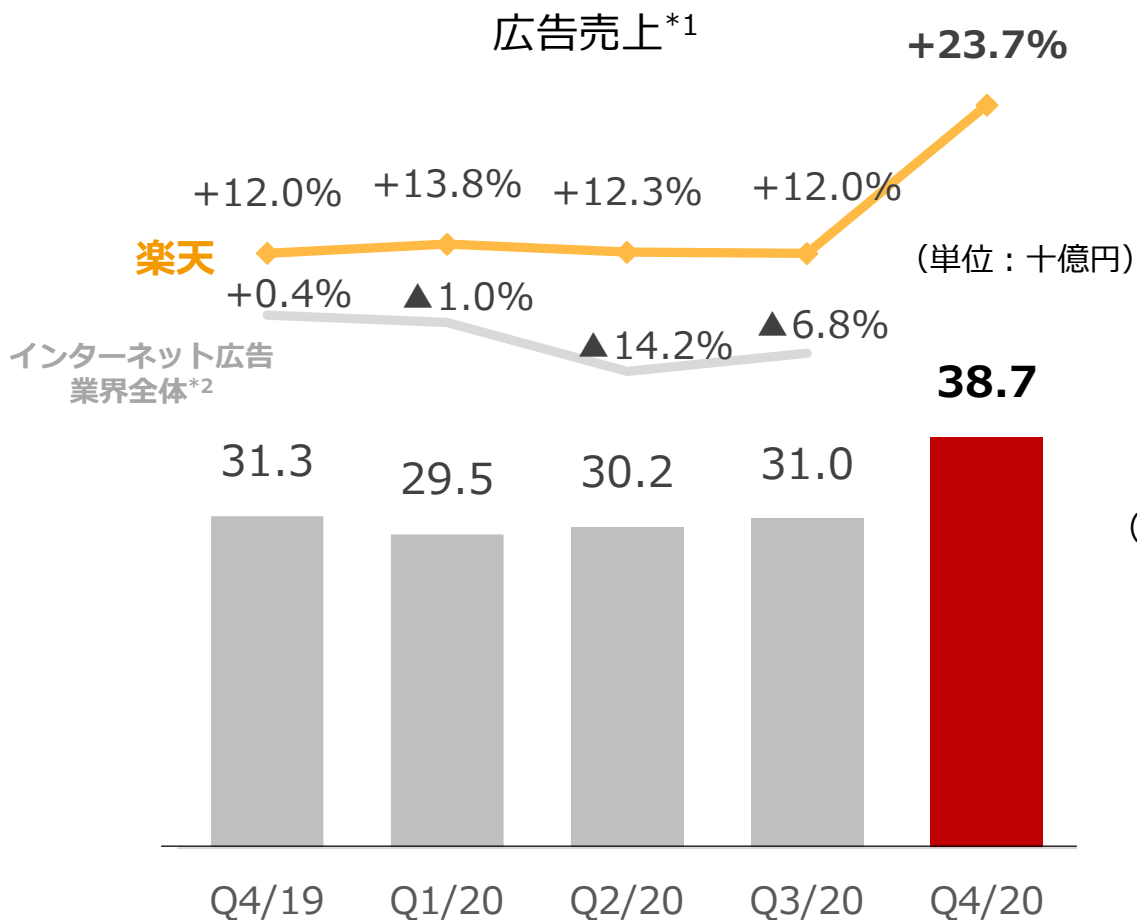
# Viber 売上収益\*



\* 通信: Viber Out, Viber In, SMS  
コンテンツ: サービスメッセージ、広告、ステッカー等

# 広告事業

# 広告事業：Q4/20 成長率分析



\*1 内部取引含む取扱高

\*2 出典：経済産業省 特定サービス産業動態統計調査 広告業



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

**Rakuten**

The Rakuten logo consists of the word "Rakuten" in a bold, red, sans-serif font. A red horizontal line is positioned below the letters "a", "k", and "u", starting from the left edge of the "a" and extending to the right edge of the "u".